

## 第4章 肉豚共済

### 第1節 通則

#### 第1款 目的

この章は、肉豚について定めたものであり、肉豚に係る家畜共済事業を適正かつ円滑に行うことを目的とする。

#### 第2款 共済目的

##### 1 特定肉豚

肉豚（種豚以外の豚をいう。以下同じ。）のうち2の群単位肉豚以外のもの（出生後第20日の日（その日に離乳していないときは、離乳した日）に達しているものに限る。）

##### 2 群単位肉豚

肉豚のうち次に掲げる要件のいずれかを満たさない者の飼養するもの（出生後第20日の日（その日に離乳していないときは、離乳した日）に達し、第8月の月の末日を経過していないものに限る。）

ア 畜舎への立入調査により、母豚の頭数、畜舎の構造及び敷地面積その他肉豚の飼養頭数の確認のために必要な事項が把握できること。

イ 過去3年間に於いてその者の飼養する母豚の繁殖成績及び当該母豚から出生した豚の離乳の日に至るまでの死亡率を記録しており、かつ、今後とも当該繁殖成績及び死亡率を記録することが確実であると見込まれること。

ウ 過去3年間に於いてその者の飼養する母豚から出生した豚が、その者の出荷する肉豚（養畜の業務の規模の著しい変更に伴う共済目的たる肉豚の譲受け又は共済事故の発生による飼養頭数の減少を補うことを目的とする共済目的たる肉豚の譲受けにより飼養するに至ったものを除く。）のおおむね全頭を占めており、かつ、今後ともその者の飼養する母豚から出生した豚がその者の出荷する肉豚のおおむね全頭を占めることが確実であると見込まれること。

エ 過去3年間に於いて出荷した肉豚の頭数に関する資料の提供につき協力が得られ得る者に肉豚を出荷しており、かつ、今後とも肉豚を当該資料の提供につき協力が得られる者に出荷することが確実であると見込まれること。

#### （注）日齢が不明な場合の推定方法

子豚の出生日が不明な場合は、当該地域における肉豚の標準体重等を基礎として、加入資格取得日齢に達しているか否かを推定する。なお、参考として次に標準体重例を示す。

|           |    |    |    |    |    |    |    |    |     |
|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 日 齢       | 20 | 30 | 40 | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 |
| 標準体重 (kg) | 6  | 9  | 12 | 17 | 22 | 28 | 35 | 42 | 49  |

### 第3款 共済事故

#### 1 肉豚共済の共済事故

##### (1) 死亡事故

豚の死亡をいう。ただし、次の場合を除く。

ア と殺による死亡

イ 家畜伝染病予防法第58条第1項（第4号に係る部分に限る。）の規定による手当金、同条第2項の規定による特別手当金又は同法第60条の2第1項の規定による補償金の交付の原因となる死亡

##### (2) 死亡事故の発生日

死亡事故の発生日は、家畜が死亡した日とする。

#### 2 共済事故の一部除外

(1) 組合等との間に特定肉豚に係る包括共済関係の存する者は、共済掛金期間ごとに、当該共済掛金期間の開始する2週間前までに、組合等に対し、次の事故を共済事故としない旨の申出をすることができる。

火災※1、伝染性の疾病※2（家畜伝染病予防法第2条第1項に規定する家畜伝染病及び同法第4条第1項に規定する届出伝染病※3に限る。）又は風水害その他気象上の原因（地震及び噴火を含む。）※4による死亡（以下この章において「特定事故」という。）以外の死亡

※1 組合等の調査において、出火の事実が確認されたもの

※2 家畜伝染病にあつては患畜又は疑似患畜（と殺又は殺処分されたものにあつては家畜伝染病予防法第17条又は第20条の規定によるものに限る。）、届出伝染病にあつては真症のもの

※3 家畜伝染病予防法第4条第1項の届出伝染病にあつては、農林水産大臣が指定するもの（ニパウイルス感染症、豚エンテロウイルス性脳脊髄炎）に限る。

※4 組合等の調査において、事故の原因となる自然現象が特定できたもの。なお、通常の飼養管理により被害を回避できたと判断される死亡については、事故として取り扱わないものとする。事故の範囲の例を掲げると次のとおりである。

ア 豪雨による河川の氾濫、洪水等により、流失あるいは溺死等、土砂崩れによる畜舎の倒壊・畜舎内への土砂の流入に伴う圧死、窒息死等

イ 暴風による畜舎の倒壊による圧死、打撲死等

ウ 豪雪による畜舎の倒壊による圧死、打撲死等

エ 地震による畜舎の倒壊による圧死、打撲死等又は地震に伴い発生した津波による溺死等

オ 落雷等により送電線、配電盤等が破壊され停電となり、空調機器等が作動しなくなったため熱射病等により死亡事故となった場合（暑熱による日射病、熱射病等は原則として除く。）

（２）（１）の申出は、その者に係る特定肉豚の飼養に関する条件が、次に掲げる要件のいずれにも該当するときに限り、することができる。

イ 当該共済掛金期間の開始の時ににおいて現に飼養する肉豚の頭数が 200 頭以上であること。

ロ 肉豚につき、当該共済掛金期間の開始前 5 年間にわたり引き続き養畜の業務を営んだ経験を有すること。

（３）（１）の申出があったときは、当該包括共済関係においては、当該申出に係る共済掛金期間内は、１（１）の規定にかかわらず、同項の共済事故のうち当該申出に係るものを共済事故としないものとする。

#### 第 4 款 加入資格者

第 1 章第 4 節の規定に準ずる。

#### 第 5 款 共済関係等の成立等

##### 1 共済関係の成立

（１）共済関係の成立

肉豚に係る家畜共済の共済関係は、組合員等が、その飼養する肉豚を一体として家畜共済に付することを申し込み、組合等がこれを承諾することによって、成立するものとする。

（２）承諾義務の例外

第 1 章第 5 節第 1 款 3 の規定に準ずる。

##### 2 共済関係の消滅

（１）特定肉豚に係る共済関係の成立の際、その成立により当該共済に付されることとなった肉豚につき既に群単位肉豚に係る共済関係が成立しているときは、当該特定肉豚に係る共済関係に係る共済責任の始まる時に、その成立していた群単位肉豚に係る共済関係は、消滅するものとする。

（２）組合等との間に特定肉豚に係る共済関係の存する者が第 2 款 2 に規定する者となったときは、その時に、その成立していた当該特定肉豚に係る共済関係は、消滅するものとする。

（３）（１）及び（２）に規定する場合において、組合等は、消滅する共済関係に係る共済掛金及び組合員等が支払った賦課金のうち、まだ経過しない共済掛金期間に対応する部分の金額を日割で計算した金額を組合員等に返還するものとする。

### 3 共済関係の存続

第1章第5節第3款の規定に準ずる。

### 4 共済関係に関する権利義務の承継

第1章第5節第4款の規定に準ずる。

### 5 保険関係の成立

第1章第5節第5款の規定に準ずる。

## 第6款 共済責任及び共済掛金期間

### 1 共済責任の開始

#### (1) 特定肉豚

第1章第6節第1款の規定に準ずる。

#### (2) 群単位肉豚

共済責任は、組合等が組合員等から組合員等負担共済掛金の払込みを受けた日の翌日から始まる。

### 2 共済掛金期間

#### (1) 特定肉豚

第1章第6節第2款の規定に準ずる。

#### (2) 群単位肉豚

共済掛金期間は、出生後第20日の日（その日に離乳していないときは、離乳した日）から出生後第8月の月の末日までの期間とする。

## 第7款 共済価額及び共済金額

### 1 共済価額

#### (1) 特定肉豚

基準期間（共済責任期間の開始の日から最初の基準日（共済掛金期間開始の日から1月を経過するごとの日をいう。以下同じ。）までの期間及び各基準日の翌日から次の基準日までの期間をいう。以下同じ。）ごとに、当該基準期間の開始の時ににおいて組合員等が現に飼養している肉豚の価額の合計金額とする。

#### (2) 群単位肉豚

飼養区分（離乳の日（その日後に当該組合員等が飼養するに至った肉豚については、その飼養するに至った日）を同一とする肉豚の群の別をいう。以下同じ。）ごとに、共済掛金期間開始の時ににおける当該飼養区分に属する肉豚の価額の合計金額とする。

## 2 家畜の価額の評価方法

肉豚の価額は、組合等が原則として年度ごとに損害評価会の意見を聴いて定める1頭当たりの価額により評価する。

$$1 \text{ 頭当たりの価額} = A - 190 \text{ 円 (子豚 1 キログラム当たりの生産費)} \times (B - C)$$

A：家畜市場において過去1年間に取引された肥育を目的とした子豚の平均価格に相当する金額

B：Aの子豚の平均日齢に対応する標準体重として、次の表の左欄に掲げる肉豚の日齢区分につき、それぞれ同表の右欄に掲げる標準体重の算定方法により算定される値

| 日齢区分       | 標準体重の算定方法                            |
|------------|--------------------------------------|
| 20日から39日まで | 20日齢を6キログラムとし、以降1日ごとに0.3キログラムを加える方法  |
| 40日から59日まで | 40日齢を12キログラムとし、以降1日ごとに0.5キログラムを加える方法 |
| 60日から69日まで | 60日齢を22キログラムとし、以降1日ごとに0.6キログラムを加える方法 |
| 70日以上      | 70日齢を28キログラムとし、以降1日ごとに0.7キログラムを加える方法 |

C：組合等の区域内の平均的離乳日齢に対応する標準体重として、20日齢を6キログラムとし、以降1日ごとに0.3キログラムを加えて算定される値

## 3 共済金額

第1章第7節第3款1に準ずる。

ただし、付保割合は8割～4割の範囲内とし、群単位肉豚については年度内は変更しない。

## 4 異動通知

### (1) 特定肉豚

ア 組合等は、共済目的に次に掲げる異動を生じたときは、基準期間の終了後、遅滞なく、その旨を組合員等に通知させるものとする。

(ア) 共済目的たる肉豚の譲受け

(イ) 共済目的たる肉豚が出生後第20日の日（その日に離乳していないときは、離乳した日）に達したこと。

(ウ) 共済目的たる肉豚を飼養しないこととなったこと。

(エ) 共済目的たる肉豚が種豚になったこと。

イ 組合等は、共済目的に次に掲げる異動を生じたときは、遅滞なく、その旨を組合員等に通知させるものとする。

(ア) 養畜の業務の規模の著しい変更に伴う共済目的たる肉豚の譲受け

(イ) 共済事故の発生による飼養頭数の減少を補うことを目的とする共済目的たる肉豚の譲受け

(ウ) 養畜の業務の規模の著しい変更に伴い共済目的たる家畜を飼養しないこととなったこと。

## (2) 群単位肉豚

組合等は、共済目的に次に掲げる異動を生じたときは、遅滞なく、その旨を組合員等に通知させるものとする。

ア 共済目的たる肉豚の譲受け

イ 共済目的たる肉豚が出生後第 20 日の日（その日に離乳していないときは、離乳した日）に達したこと。

## 5 特定肉豚の共済関係に係る共済金額等の変更

(1) 組合等は、共済事故が生じたときは、当該共済事故が生じた時の属する基準期間の次の基準期間の開始の時に、支払われた共済金に相当する金額だけ共済金額を減額するものとする。

(2) 組合等は、共済価額が 4 (1) ア (ア) 又は (イ) に掲げる共済目的の異動により増加したときは、共済金額の増額の請求を希望する組合員等から、当該異動の日の属する基準期間の次の基準期間の開始の日から 2 週間以内に、共済価額の増加の割合の範囲内で、共済金額の増額を請求させるものとする。

当該共済金額の増額は、第 8 款 1 (2) の共済掛金の差額のうち組合員等負担分の支払を受けた日の翌日から効力を生ずるものとする。

(3) 組合等は、共済価額が共済事故又は 4 (1) イ (ウ) に掲げる共済目的の異動により著しく減少したときは、共済金額の減額の請求を希望する組合員等から、当該共済事故又は当該異動が生じた日の属する基準期間の次の基準期間の開始の日から 2 週間以内に、共済価額の減少の割合の範囲内で、共済金額の減額を請求させるものとする。

当該共済金額の減額は、組合等が組合員等の請求を受理した日の翌日からその効力を生ずるものとする。

## 第 8 款 共済掛金等

### 1 共済掛金

(1) 共済掛金は、次の式により算定される金額とする。

$$\text{共済掛金} = \text{共済金額} \times \text{共済掛金率} \times \text{短期係数}$$

(注) 群単位肉豚について、新規加入時に現に飼養する肉豚の飼養区分に係る短期係数は、「共済掛金期間（月数）／7」とする。

なお、共済掛金期間（月数）の1月未満の端数は切り上げる。

(2) 組合等は、特定肉豚の共済金額の変更に係る共済掛金の差額のうち組合員等負担分について、増額の場合は払込期限（当該増額の請求をした日から2週間以内）までに組合員等から徴収し、減額の場合は速やかに組合員等に返還する。

共済掛金の差額は、以下の式により算定する。

$$\begin{aligned} & \text{共済掛金の差額} \\ & = \text{共済金額の変更金額（変更後の共済金額一期首（変更前）の共済金額）} \\ & \quad \times \text{共済掛金率} \times \text{未経過月数} / 12 \text{ か月} \end{aligned}$$

(注) 未経過月数の1月未満の端数は、増額の場合は切り上げ、減額の場合は切り捨てる。

## 2 共済掛金率

第1章第8節第2款の規定に準ずる。

## 3 共済掛金区分

共済掛金区分は、特定肉豚及び群単位肉豚とする。

## 4 共済掛金の国庫負担

(1) 国庫負担共済掛金は、次の式により算定される金額とする。

$$\text{国庫負担共済掛金} = \text{共済金額} \times \text{基準共済掛金率} \times \text{短期係数} \times \text{国庫負担割合}$$

(注) 群単位肉豚について、新規加入時に現に飼養する肉豚の飼養区分に係る短期係数は、「共済掛金期間（月数）／7」とする。

なお、共済掛金期間（月数）の1月未満の端数は切り上げる。

(2) 特定肉豚の共済金額の変更に係る国庫負担共済掛金は、次の式により算定される金額とする。

$$\begin{aligned} & \text{特定肉豚の共済金額の変更に係る国庫負担共済掛金} \\ & = \text{共済金額の変更金額（変更後の共済金額一期首（変更前）の共済金額）} \\ & \quad \times \text{基準共済掛金率} \times \text{未経過月数} / 12 \text{ か月} \times \text{国庫負担割合} \end{aligned}$$

## 5 事務費賦課金

第1章第8節第5款の規定に準ずる。

## 6 組合員等負担共済掛金等の払込み

### (1) 組合員等負担共済掛金

第1章第8節第6款1の規定に準ずる。

### (2) 組合員等負担共済掛金の払込期限

第1章第8節第6款2の規定に準ずる。

ただし、群単位肉豚については、共済責任の開始後に飼養する肉豚の飼養区分に係る共済掛金については、第7款4(2)の通知のあった日から2週間以内に、当該飼養区分に係る共済掛金期間に対する組合員等負担共済掛金を徴収するものとする。

### (3) 特定肉豚の共済金額を増額した場合の組合員等負担共済掛金の払込期限

第7款5(2)の請求のあった日から2週間以内

### (4) 権利義務承継時の組合員等負担共済掛金の払込期限

第1章第8節第6款4の規定に準ずる。

### (5) 共済掛金の分納（特定肉豚に係る共済関係に限る。）

第1章第8節第6款6の規定に準ずる。

ただし、分納回数は、次のとおりとする。

ア 共済掛金期間が1年（共済掛金期間を1年未満とする場合で、当該共済掛金期間の月数が12か月のものを含む。）である包括共済関係について、共済掛金期間ごとの組合員等負担共済掛金の金額が組合等の事業規程等で定める金額以上である場合 2回、3回、4回又は12回

イ 組合等が共済掛金期間を1年未満とする包括共済関係であって、当該共済掛金期間が6か月以上12か月未満のものについて、当該包括共済関係に係る組合員等負担共済掛金の金額が組合等が事業規程等で定める金額以上である場合 当該共済掛金期間の月数に相当する回数

### (6) 保険料の払込期限

第1章第8節第6款7の規定に準ずる。

### (7) 事務費賦課金の払込期限

第1章第8節第6款8の規定に準ずる。

### (8) 督促

第1章第8節第6款9の規定に準ずる。

(9) 延滞金の徴収

第1章第8節第6款10の規定に準ずる。

**第9款 共済掛金等に関する権利の消滅時効**

第1章第9節の規定に準ずる。

**第10款 共済掛金等の相殺の制限**

第1章第10節の規定に準ずる。

**第11款 損害防止及び調査**

第1章第11節の規定に準ずる。

**第12款 共済金**

**1 損害の額の算定**

第1章第12節第1款1の規定に準ずる。

**2 共済金の算定**

第1章第12節第1款2の規定に準ずる。

なお、特定肉豚にあっては、共済事故に係る家畜1頭ごとに、1の損害の額の80/100に相当する金額を限度とする。

(注) 特定肉豚にあっては、共済目的の異動に伴う共済価額の増額又は減額を行わない場合は、付保割合が基準日ごとに変化するが基準期間内は一定であるので、共済金の支払額は基準期間内においては一定となり、基準期間ごとに変わる事となる。

**3 支払共済金の決定及び支払**

第1章第12節第1款3の規定に準ずる。

**4 共済事故に係る肉豚の価額**

1の損害の額の算定における共済事故に係る肉豚の価額は、第7款2の1頭当たりの価額とする。

**5 肉皮等残存物の価額又は廃用家畜の価額**

第1章第12節第1款5の規定に準ずる。

## 6 死廃共済金の支払限度

(1) 死廃共済金支払限度額の適用を受ける共済関係  
第1章第12節第3款1の規定に準ずる。

(2) 死廃共済金支払限度額の算定

死廃共済金支払限度額は、次の式によって算定される金額とする。

$$\text{死廃共済金支払限度額} = \text{共済掛金期間開始の時点における共済金額} \\ \times \text{死廃共済金支払限度率} \times \text{短期係数}$$

(3) 死廃共済金支払限度額の変更

第7款5(2)又は(3)の規定に基づき共済金額を変更した場合における死廃共済金支払限度額は、変更前の死廃共済金支払限度額に次の式によって算定される変更金額を増額又は減額した金額とする。

$$\text{変更金額} = \text{共済金額の変更額（変更後の共済金額一期首（変更前）の共済金額）} \\ \times \text{死廃共済金支払限度率} \times \text{未経過月数} / 12 \text{ か月}$$

## 第13款 免責

### 1 組合等による免責

(1) 免責事由

第1章第15節第1款1の規定に準ずる。

なお、同款1クに規定する待期間中に発生した共済事故に係る免責については、以下の場合についても免責しないこととする。

- (ア) 当該共済事故に係る家畜が、特定肉豚であって、当該組合員等の飼養する母豚から出生し、当該特定肉豚に係る包括共済関係の成立後に出生後第20の日（その日に離乳していないときは、離乳した日）に達したものである場合
- (イ) 当該共済事故に係る家畜が、特定肉豚であって、法第141条第1項の規定により消滅した群単位肉豚に係る包括共済関係に、当該共済事故が生じた日の前日から起算して2週間以上前から付されていたものである場合
- (ウ) 当該共済事故に係る家畜が、当該共済事故が生じた日の前日から起算して2週間以上前から特定肉豚に係る包括共済関係に付されていた肉豚であって、当該包括共済関係の消滅後2週間以内に群単位肉豚に係る包括共済関係に付されたものである場合

(2) 免責及び免責額の決定

第1章第15節第1款2の規定に準ずるほか、群単位肉豚にあつては、事故発生時において、正当な理由がないのに、飼養群に所属する全ての肉豚が加入資格取得

日齢に達しているにもかかわらず、加入申込をしていない飼養群、第7款4の異動通知をしていない飼養群又は加入申込後2週間を超えて共済掛金の払込みを行っていない飼養群が認められたときは、全ての群についての共済金の全額を免責する。

## **2 都道府県連合会の免責事由**

第1章第15節第2款の規定に準ずる。

## **3 組合員等への説明**

第1章第15節第3款の規定に準ずる。

### **第14款 危険の減少**

第1章第16節の規定に準ずる。

### **第15款 共済関係の無効等**

第1章第17節（個別共済関係に係る部分を除く。）の規定に準ずる。

### **第16款 第三者に対する権利の取得**

第1章第18節の規定に準ずる。

### **第17款 業務の委託**

第1章第19節の規定に準ずる。

### **第18款 他人の家畜を家畜共済に付したときの共済金の請求権**

第1章第20節の規定に準ずる。

### **第19款 責任準備金**

第1章第22節の規定に準ずる。

### **第20款 損害評価会及び損害評価員**

第1章第25節の規定に準ずる。

## **第2節 引受け**

### **第1款 組合等の引受けに関する事務処理**

#### **1 家畜共済掛金率等一覧表**

第2章第1節1の規定に準ずる。

#### **2 加入申込**

第2章第1節2の規定に準ずる。

#### **3 引受審査**

##### **(1) 新規加入**

ア 組合等は、加入申込書が提出されたときは、次に掲げる事項について審査を行うものとする。また、審査に当たっては、現地で畜舎や飼養管理の状況を確認するものとする。なお、豚舎に立ち入るときは、十分な防疫体制を整える。

(ア) 加入申込書の記載事項について適正に記入されていること。

(イ) 特定肉豚の場合は、母豚の頭数、豚房の面積及び数、肉豚の飼養状況等から判断し、適正な頭数が申告されていること。

(ウ) 特定肉豚の場合は、加入申込者が第1節第2款2に規定する者に該当しないこと。

(エ) 群単位肉豚の場合は、健康な豚であることを確認するとともに、引受頭数を確認し、現地確認書（肉豚用）（様式例11）にその所要の確認事項を記録すること。

なお、確認に当たっては、カラースプレーによるマーキング等を行い、豚舎・豚房図面を整備し、飼養可能頭数と引受頭数との整合性を確認するとともに、肉豚共済管理簿等の資料を活用し、加入すべき飼養群の全てにつき引受けがなされていることを確認すること。

(オ) 第1章第5節第1款3の承諾を拒む事由に該当しないこと。

(カ) 加入申込者が事故除外方式の申出をしたときは、当該者の家畜の飼養に関する条件が第1節第3款2（2）の基準に適合していること。

イ 組合等は、アの審査の結果、不備があるときは、その加入申込者に対して、事実を明示して、加入申込書の訂正を行わせるものとする。

ウ 加入申込者が（3）の確約をしない場合、第1節第5款1（2）の承諾を拒む事由に該当する場合及びイの訂正に応じない場合は、加入申込を承諾しないものとし、その旨を加入申込者に通知するものとする。

##### **(2) 継続加入（特定肉豚に限る。）**

第2章第1節3（2）の規定に準ずる。

(3) 組合員等の確約事項

組合等は、組合員等に対し、特定肉豚にあっては共済掛金期間開始時に、群単位肉豚にあっては年度ごとの最初の共済掛金期間開始時に次の事項を確約させるものとする。

- ア 組合等が引受け及び事故の確認等を行う際には、豚舎への立入りを拒まないこと。
- イ 肉豚の飼養実態を常に明らかにしておくため、肉豚共済管理簿（様式例 1－6）により肉豚の生産及び異動の状況を記録すること。

(4) 個人情報の利用

第 2 章第 1 節 3（3）イの規定に準ずる。

**4 共済金額の決定**

組合等は、加入申込書又は継続加入通知書の引受審査を終えたときは、共済価額を決定するとともに、加入申込者又は組合員等の申出に基づき共済金額を決定するものとする。

**5 加入申込の承諾等**

第 2 章第 1 節 5 の規定に準ずる。

**6 加入申込書、継続加入通知書の訂正**

第 2 章第 1 節 6 の規定に準ずる。

**7 期中の共済金額の変更（特定肉豚に限る。）**

第 2 章第 1 節 7 の規定に準ずる。

**8 新たな飼養群の引受け（群単位肉豚に限る。）**

ア 組合等は、第 1 節第 7 款 4（2）の異動通知があったときは、現地において、健康な豚であることを確認するとともに、引受頭数を確認し、現地確認書（肉豚用）（様式例 11）にその所要の確認事項を記録すること。

また、確認に当たっては、カラスプレーによるマーキング等を行い、豚舎・豚房図面を整備し、飼養可能頭数と引受頭数との整合性を確認するとともに、肉豚共済管理簿等の資料を活用し、加入すべき飼養群の全てにつき引受けがなされていることを確認すること。

なお、豚舎に立ち入るときは、十分な防疫体制を整える。

イ アを行った後、共済価額及び共済金額を決定し、第 1 節第 8 款の規定により共済掛金、国庫負担共済掛金及び組合員等負担共済掛金を算定し、組合員等負担共済掛金について、第 1 節第 8 款 6（2）に規定する払込期限までに徴収するものとする。

ウ 組合等は、引受けを行った飼養群の加入証を交付するものとする。

## 9 引受けの取りまとめ

第2章第1節9の規定に準ずる。

## 第2款 都道府県連合会の引受けに関する事務処理

第2章第2節の規定に準ずる。

## **第3節 損害認定**

### 第1款 死亡事故の発生通知

#### 1 事故発生通知

組合等は組合員等に対して、死亡事故が発生したときは、遅滞なく口頭、文書、電話等をもってその旨を組合等に通知させる。なお、肉豚の死亡事故については、検案を受ける必要はないものとする。

#### 2 事故発生通知の受理及び都道府県連合会への事故発生通知

組合等は、組合員等から死亡事故の発生通知を受けたときは、直ちに共済事故発生簿（様式例8）に必要事項を記録するとともに、遅滞なくその旨を都道府県連合会に通知する。

### 第2款 現地確認及び損害認定（3段階制）

#### 1 現地確認

第3章第1節第2款1の規定に準ずる。

なお、肉豚の死亡事故の確認を現地において行う場合はカラスプレーによるマーキング等を行うこととともに、事故豚の体長、体重等により当該事故豚が加入豚であるか否かを確認する。

また、組合等は、現地確認に代えて、画像確認対象者に提供させた画像※をもって、当該特定肉豚が当該組合等の死亡廃用共済に付されていること及び当該特定肉豚の死亡（特定事故を除く。）が生じたことを確認することができる。

#### ※ 画像確認対象者による死亡した特定肉豚の画像の提供

組合等は、特定肉豚に死亡事故が発生した場合であって、画像確認対象者が当該死亡事故を特定事故以外の死亡事故であると判断したときに、事故発生通知を行わせるとともに、当該死亡豚の画像を携帯電話、スマートフォン、デジタルカメラ等で撮影させ、その画像データを電子メール等により速やかに組合等へ提供させることができる。

組合等は当該画像について、以下の方法により撮影させる。

- ① 同一の死亡豚が重複して事故申告されることのないよう、死亡豚の体表に組合等から配付された塗料で、死亡年月日及び当該損害発生通知に係る死亡豚の通し番号を記載するとともに、当該死亡豚の前肢のうち地表に近い側の肢（足裏を含む。）に、当該塗料を塗布する。
- ② 画像において死亡の事実が確認できるよう、当該死亡豚の目及び鼻に、組合等から配付された塗料を塗布する。
- ③ 当該死亡豚が加入資格取得日齢に達しているかを組合等が推定するために、当該死亡豚の下部に体長が測定できるようにメジャーを設置する。
- ④ ①から③までの事項について確認できるように、静止画又は動画で撮影する。
- ⑤ 撮影画像は、撮影年月日及び画像の撮影場所が画像確認対象者の農場内であることが確認できるよう、撮影年月日データ及びGPSデータが付加されたものであることを必要とする。

なお、組合等が、近隣に他の養豚農業者が存在していることや、農場の立地環境の影響等により、GPSデータのみでは画像の撮影場所が当該画像確認対象者の農場内であることを確認することが難しいと判断した場合には、GPSデータの付加に加えて、目印（組合等と画像確認対象者との間であらかじめ定めたもので、撮影場所が当該画像確認対象者の農場内であることを確認できるものに限る。）が、画像に収められていなければならない。

（注1）画像確認対象者に提供させ事故確認に用いた画像は、家畜共済死亡事故記録（特定肉豚・群単位肉豚）とともに5年間保存すること。

（注2）画像確認対象者の特定肉豚の死亡事故（特定事故を除く。）であっても、次の場合には、現地において当該事故の確認を行うこと。

なお、組合等は、画像確認対象者に対し、このことについてあらかじめ了承を得ておくこと。

- a 撮影機器の故障、死亡豚の大量発生等により、死亡豚の撮影又は組合等への当該撮影画像の提供が困難となったとき
- b 組合等が、画像確認対象者が撮影した画像では適切な事故確認を行うことができないと判断したとき

## 2 組合員等からの書類の提出

第3章第1節第2款2の規定に準ずる。

ただし、肉豚の死亡事故については、検案の必要がないことから死廃事故診断書等を提出させる必要はない。

## 3 肉皮等残存物の価額等の調査

第3章第1節第2款3の規定に準ずる。

#### 4 免責事由の有無の確認

第3章第1節第2款4の規定に準ずる。

#### 5 現地確認書（肉豚用）又は画像確認書（肉豚用）の作成

1～4の事務が終了した後、現地確認又は画像確認により確認した組合等職員は、確認結果を記入した現地確認書（肉豚用）又は画像確認書（肉豚用）（様式例 11）を作成する。

ただし、都道府県連合会職員が現地確認を行った場合、都道府県連合会職員が当該認定書を作成するものとし組合等は当該認定書を作成する必要はない。

（注1）画像確認対象者から提供を受けた画像による肉豚の事故確認が終了したときは、当該画像確認対象者に終了した旨及び当該死亡肉豚を処分する旨を電話及び電子メールにより通知する。

（注2）組合等が現地確認書（肉豚用）又は画像確認書（肉豚用）を作成するときは2部作成し、1部を保険金請求書に添付することで都道府県連合会に提出する。また、都道府県連合会が死廃事故認定書を作成するときは2部作成し、1部を組合等に提出する。

#### 6 損害の額の認定

組合等及び都道府県連合会は、現地確認書（肉豚用）又は画像確認書（肉豚用）に基づき損害の額を算定し、認定する。

#### 7 家畜共済死廃事故記録の作成及び支払共済金の決定

- （1）組合等は、損害の額を認定したときは、現地確認書（肉豚用）又は画像確認書（肉豚用）の内容を家畜共済死廃事故記録（様式 15－2、15－3）に記入する。
- （2）組合等は、家畜共済死廃事故記録において、死廃共済金支払限度額又はその残額等を整理した上で、支払共済金及び請求保険金の額を決定し、その額を家畜共済死廃事故記録に記入する。

#### 8 損害評価員による現地確認及び調査

第3章第1節第2款8の規定に準ずる。

#### 第3款 現地確認及び損害認定（2段階制）

第2款及び第3章第1節第3款の規定に準ずる。

## 第5章 共済金の支払

### 第1節 死廃事故に係る共済金の支払

#### 1 共済金支払期日

組合等は、現地確認を行った日から 60 日以内に共済金を支払うことを目標とする。

#### 2 共済金支払に係る通知

組合等は、共済金を支払ったときは、家畜共済死廃事故共済金支払通知書（様式 23）を作成し組合員等に送付する。

#### 3 その他

免責を行う場合には、組合員等に対して、あらかじめ免責の事由及び免責額について説明を行うとともに、事態の改善を図るよう文書により指導する。

### 第2節 病傷事故に係る共済金の支払

#### 1 共済金支払期日

組合等は、損害発生通知を受けた日から 60 日以内に共済金を支払うことを目標とする。

#### 2 共済金支払に係る通知

（1）組合等は、共済金を支払ったときは、家畜共済病傷事故共済金支払通知書（様式 24）を作成し組合員等に送付する。

（2）組合等が、代理受領委任状により組合員等から病傷共済金の受領の委任を受けた指定獣医師に対し共済金を支払ったときは、家畜共済病傷事故共済金振込通知書（代理受領用）（様式 25）を当該指定獣医師に送付する。

#### 3 その他

免責を行う場合には、組合員等に対して、あらかじめ免責の事由及び免責額について説明を行うとともに、事態の改善を図るよう文書により指導する。

## 第6章 保険金及び再保険金の請求及び支払

### 第1節 組合等（特定組合等を除く。）の保険金の請求等

#### 第1款 保険金の請求

##### 1 死亡廃用共済

組合等は、家畜共済死廃事故記録を作成した後、毎月の死廃事故の状況を取りまとめ、家畜共済保険金請求書（死廃事故）（様式 19）を作成し、必要に応じ以下の書類を添付し速やかに都道府県連合会に提出するものとする。

なお、書類の提出については、電磁的方法により行うことができる。

| 【書類】             |                            |                                                                        |
|------------------|----------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 様式番号             | 名称                         | 備考                                                                     |
| 様式例 10-1 又は 10-2 | 死廃事故認定書                    | 都道府県連合会が死廃事故認定書を作成しない事故について添付すること。                                     |
| 様式例 32           | 家畜共済免責同意書（理由書）             | 第1章第15節第1款2（3）の規定による免責を行った場合に、都道府県連合会宛に2部、都道府県宛に1部を添付。また、死廃事故認定書の写を添付。 |
| 様式例 11           | 現地確認書（肉豚用）<br>又は画像確認書（肉豚用） | 肉豚の死亡事故がある場合                                                           |

##### 2 疾病傷害共済

組合等は、都道府県連合会による集合（又は巡回）審査を受けた後、毎月の病傷事故の状況を取りまとめ、家畜共済保険金請求書（病傷事故）（様式 20）を作成し、必要に応じ以下の書類を添付し速やかに都道府県連合会に提出するものとする。

なお、書類の提出については、電磁的方法により行うことができる。

| 【書類】   |                |                                          |
|--------|----------------|------------------------------------------|
| 様式番号   | 名称             | 備考                                       |
| 様式例 32 | 家畜共済免責同意書（理由書） | 免責基準外の免責を行った事故<br>都道府県連合会宛に2部、都道府県宛に1部提出 |

## 第2款 死傷事故に係る確定報告及び保険金の請求・返納申請

組合等は、当該年度に開始した全ての共済掛金期間に係る期末調整が完了したときは、年度ごとに死傷損害確定報告及び保険金（請求書・返納申請書）（様式 26）を作成し、完了した月の翌月の 15 日までに都道府県連合会に提出する。

## 第2節 都道府県連合会の行う保険金の支払及び再保険金の請求等

### 第1款 保険金の支払及び農林水産大臣への損害発生通知

#### 1 保険金の支払

- (1) 都道府県連合会は、組合等から提出された保険金請求書の審査後速やかに保険金を支払うものとする。
- (2) 都道府県連合会の家畜診療所又は嘱託獣医師は、診療を行った事故については転帰の日の属する月ごとに保険金支払通知書（様式 18）を3部作成し、都道府県連合会と組合員等の加入する組合等に1部ずつ提出し、1部を控えとする。当初の入力は使用点数までとし、内容審査の後、支払共済金等を入力する。

なお、組合等が共済責任を保留している場合、組合等から徴収する額は組合等徴収額欄に記入する。

#### 2 農林水産大臣への損害発生通知

都道府県連合会は、組合等から提出された保険金請求書の審査後、月ごとに家畜共済連合会損害発生通知書（様式 21）を作成し、共済事故発生月の翌々月の 15 日までに農林水産大臣に損害発生通知を行う。

### 第2款 損害確定報告及び再保険金請求書

都道府県連合会は、組合等から提出された事故確定報告に基づき当該年度の全ての共済事故を取りまとめ、連合会損害確定報告及び再保険金請求書（様式 27）を作成し、農林水産大臣に損害確定報告を行う。また、必要に応じて再保険金請求を行う。

### 第3款 再保険金の概算払請求

都道府県連合会は、事業年度ごとの再保険金の総額が確定しない場合であっても、既に支払うべき保険金の総額が、家畜通常責任保険金額を超えることが明らかな場合は、家畜共済再保険金概算払請求書（様式 29）を作成し、農林水産大臣に再保険金の概算を請求することができる。

請求できる概算払の額は、概算払をする時において当該都道府県連合会の組合員たる組合等が既に支払った共済金の合計額の 100 分の 95 に相当する金額の範囲内とする。ただし、当該金額が当該都道府県連合会に支払うべき再保険金の見込額の 3 分の 2 に相当する金額を超えるときは、当該見込額の 3 分の 2 に相当する金額の

範囲内とする。

### **第3節 特定組合等の行う保険金の請求等**

#### **第1款 農林水産大臣への損害発生通知**

特定組合等は、月ごとに家畜共済特定組合等損害発生通知書（様式 22）を作成し、共済事故発生月の翌々月の 15 日までに農林水産大臣に損害発生通知を行う。

#### **第2款 損害確定報告及び保険金請求書**

特定組合等は、当該年度に開始した全ての共済掛金期間に係る期末調整が完了したときは、当該年度の全ての共済事故を取りまとめ、特定組合等損害確定報告及び保険金請求書（様式 28）を作成し、農林水産大臣に損害確定報告を行う。また、必要に応じて保険金請求を行う。

#### **第3款 保険金の概算払請求**

特定組合等は、事業年度ごとの保険金の総額が確定しない場合であっても、既に支払うべき保険金の総額が、家畜通常責任保険金額を超えることが明らかな場合は、家畜共済保険金概算払請求書（様式 30）を作成し、農林水産大臣に保険金の概算を請求することができる。

請求できる概算払の額は、概算払をする時において当該特定組合等が既に支払った共済金の合計額の 100 分の 95 に相当する金額の範囲内とする。ただし、当該金額が当該特定組合等に支払うべき保険金の見込額の 3 分の 2 に相当する金額を超えるときは、当該見込額の 3 分の 2 に相当する金額の範囲内とする。

## **第7章 補則**

### **第1節 家畜共済（死亡廃用共済）から農業経営収入保険への移行**

#### **1 共済関係の解除**

組合員等が農業経営収入保険に加入するために死亡廃用共済の共済関係を解除するときは、組合等に申出させるものとし、組合等は、農業経営収入保険の保険期間の開始の日の前日までで死亡廃用共済の共済関係を解除する。

#### **2 共済掛金の期末調整**

第1章第13節の規定に準じて共済掛金の期末調整を行うものとする。

### 3 共済金の期末調整

第1章第14節の規定に準じて共済金の期末調整を行うものとする。

### 4 相殺

2と3は、相殺することができる。

## **第2節 家畜共済の制度改正に伴う新制度への移行**

### 1 共済関係の解除

組合員等が共済掛金期間の満了前に新制度へ移行するために共済関係を解除するときは、組合等に申出させるものとし、組合等は新制度の家畜共済の共済責任開始日の前日までに旧制度の家畜共済の共済関係を解除するものとする。

### 2 共済掛金の払戻し

未経過分の組合員等負担共済掛金を日割で計算した金額を払い戻すものとする。

### 3 共済金の返還

旧制度の死廃共済金支払限度額及び病傷共済金支払限度額を経過期間分の金額に再算定し、支払った共済金が当該再算定した死廃共済金支払限度額及び病傷共済金支払限度額を超える場合は、当該超える部分の額を組合員等に返還させるものとする。

### 4 相殺

2と3は相殺することができる。

## **第3節 養畜の業務の全部又は一部を止めた場合**

### 1 共済関係の解除

組合員等が養畜の業務の全部又は一部を止めたことに伴い家畜共済の共済関係を解除するときは、組合等に申出させるものとし、組合等は、現地において家畜の飼養状況、組合員等からの聞き取り等により事実関係の確認を行った後、申出のあった日の日付けで当該共済関係を解除する。

### 2 共済掛金の期末調整等

死亡廃用共済の共済関係にあつては第1章第13節の規定に準じて共済掛金の期末調整を行い、疾病傷害共済の共済関係にあつては、未経過分の組合員等負担共済

掛金を日割で計算した金額を払い戻すものとする。

### 3 共済金の期末調整等

死亡廃用共済の共済関係にあつては、第1章第14節の規定に準じて共済金の期末調整を行い、疾病傷害共済の共済関係にあつては、共済金額を経過期間分の金額に再算定し、支払った共済金が当該再算定した共済金額を超える場合は、当該超える部分の額を組合員等に返還させるものとする。

### 4 相殺

2と3は相殺することができる。

## **第4節 第1章第17節第3款の2の（2）の場合**

### 1 共済関係の解除

組合員等がトレサ情報の利用を認めない等により、第1章第5節第1款3イに掲げる事由が生じたときは、当該事由が生じた日の日付けで当該家畜共済の共済関係を解除する。

### 2 共済掛金の期末調整等

死亡廃用共済の共済関係にあつては、第1章第13節の規定に準じて共済掛金の期末調整を行い、疾病傷害共済の共済関係にあつては、未経過分の組合員等負担共済掛金を日割で計算した金額を払い戻すものとする。

### 3 共済金の期末調整等

死亡廃用共済の共済関係にあつては、第1章第14節の規定に準じて共済金の期末調整を行い、疾病傷害共済の共済関係にあつては、共済金額を経過期間分の金額に再算定し、支払った共済金が当該再算定した共済金額を超える場合は、当該超える部分の額を組合員等に返還させるものとする。

### 4 相殺

2と3は相殺することができる。

## 書類様式目録

- 様式例 1－1：【包】家畜共済加入申込書（肉豚を除く。）（兼 継続加入通知書）
- 様式例 1－2：家畜共済加入申込書（特定肉豚）（兼 継続加入通知書）
- 様式例 1－3：家畜共済加入申込書（群単位肉豚）（兼 異動通知書）
- 様式例 1－4：家畜共済加入申込書（個別共済）（兼 継続加入通知書）
- 様式例 1－5：疾病傷害共済の異動頭数申告表
- 様式例 1－6：肉豚共済管理簿
- 様式例 1－7：特定肉豚に係る異動通知書
- 様式例 1－8：家畜共済保険関係協議書
- 様式例 2－1：家畜共済（死亡廃用共済）加入承諾及び掛金等納入告知（分納通知）書  
兼領収証書
- 様式例 2－2：家畜共済（疾病傷害共済）加入承諾及び掛金等納入告知（分納通知）書  
兼領収証書
- 様式例 3－1：【包】死亡廃用共済 引受台帳（肉豚を除く。）
- 様式例 3－2：【包】疾病傷害共済 引受台帳
- 様式例 3－3：肉豚共済引受台帳（特定肉豚）
- 様式例 3－4：肉豚共済引受台帳（群単位肉豚）
- 様式例 3－5：死亡廃用共済 引受台帳（個別共済）
- 様式例 3－6：疾病傷害共済 引受台帳（個別共済）
- 様式例 4－1：【包】死亡廃用共済 加入証（肉豚以外）
- 様式例 4－2：【包】疾病傷害共済 加入証
- 様式例 4－3：加入証（特定肉豚）
- 様式例 4－4：加入証（群単位肉豚）
- 様式例 4－5：死亡廃用共済 加入証（個別共済）
- 様式例 4－6：疾病傷害共済 加入証（個別共済）
- 様式 5－1：家畜共済引受通知書（死亡廃用共済）
- 様式 5－2：家畜共済引受通知書（疾病傷害共済）
- 様式 5－3：家畜共済変更引受通知書（死亡廃用共済）
- 様式 5－4：家畜共済変更引受通知書（疾病傷害共済）
- 様式 6－1：家畜共済引受集計通知書（死亡廃用共済）
- 様式 6－2：家畜共済引受集計通知書（疾病傷害共済）
- 様式 6－3：家畜共済変更引受集計通知書（死亡廃用共済）
- 様式 6－4：家畜共済変更引受集計通知書（疾病傷害共済）
- 様式 7－1（特定組合等用）：家畜共済引受通知書（死亡廃用共済）
- 様式 7－2（特定組合等用）：家畜共済引受通知書（疾病傷害共済）
- 様式 7－3（特定組合等用）：家畜共済変更引受通知書（死亡廃用共済）
- 様式 7－4（特定組合等用）：家畜共済変更引受通知書（疾病傷害共済）

様式例 8 : 共済事故発生簿  
様式例 9 : 死廃事故診断書 (検案書)  
様式例 10-1 : 死廃事故認定書  
様式例 10-2 : 死廃事故認定書 (牛の胎児及び出生子牛用)  
様式例 11 : 現地確認書 (肉豚用)  
様式例 12 : 病傷事故診断書  
様式例 13 : 診療種別等通知書  
様式例 14 : 家畜共済病傷事故共済金代理受領委任状  
様式 15-1 : 家畜共済死廃事故記録  
様式 15-2 : 家畜共済死亡事故記録 (特定肉豚)  
様式 15-3 : 家畜共済死亡事故記録 (群単位肉豚)  
様式 16 : 家畜共済病傷事故記録  
様式 17 : 診療通知書  
様式 18 : 保険金支払通知書  
様式 19 : 家畜共済保険金請求書 (死廃事故)  
様式 20 : 家畜共済保険金請求書 (病傷事故)  
様式 21 : 家畜共済連合会損害発生通知書  
様式 22 : 家畜共済特定組合等損害発生通知書  
様式 23 : 家畜共済死廃事故共済金支払通知書  
様式 24 : 家畜共済病傷事故共済金支払通知書  
様式 25 : 家畜共済病傷事故共済金振込通知書 (代理受領用)  
様式 26 : 死廃損害確定報告及び保険金 (請求書・返還申請書)  
様式 27 : 連合会損害確定報告及び再保険金請求書  
様式 28 : 特定組合等損害確定報告及び保険金請求書  
様式 29 : 家畜共済再保険金概算払請求書  
様式 30 : 家畜共済保険金概算払請求書  
様式例 31 : 死亡廃用共済期末調整結果通知書  
様式例 32 : 家畜共済免責同意書 (理由書)

# 書類様式

## 様式例1－1

### 【包】 家畜共済加入申込書(肉豚を除く。) (兼 継続加入通知書)

〇〇農業共済組合組合長理事

平成 年 月 日

(〇〇市町村長又は全国農業共済組合連合会会長理事) 殿  
住所

市・郡

氏 名

印

下記の家畜を引受けされたく定款及び事業規程(条例)を了知した上、申し込みます。

| 家畜共済の種類 | 包括共済<br>家畜区分 | 所有・管理別 | 事故除外区分(※1)<br>(事故除外方式を選択できる要件<br>搾乳牛・育成乳牛<br>飼養頭数6頭以上かつ<br>飼養経験年数5年以上の場合<br>搾乳牛・育成乳牛以外<br>飼養経験年数5年以上の場合) | 子牛等選択区分<br>(選択できる区分<br>死亡廃用共済<br>子牛及び胎児<br>疾病傷害共済<br>子牛) | 飼養場所(※2) |
|---------|--------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------|
| 死亡廃用共済  | 搾乳牛          | 所有・管理  | 事故除外しない<br>事故除外( 1 )                                                                                     |                                                          |          |
|         | 育成乳牛         | 所有・管理  | 事故除外しない<br>事故除外( 1 )                                                                                     | 選択あり・選択なし                                                |          |
|         | 繁殖用雌牛        | 所有・管理  | 事故除外しない<br>事故除外( 1 ・ 2 )                                                                                 |                                                          |          |
|         | 育成・肥育牛       | 所有・管理  | 事故除外しない<br>事故除外( 1 ・ 2 )                                                                                 | 選択あり・選択なし                                                |          |
|         | 繁殖用雌馬        | 所有・管理  | 事故除外しない<br>事故除外( 1 )                                                                                     |                                                          |          |
|         | 育成・肥育馬       | 所有・管理  | 事故除外しない<br>事故除外( 1 )                                                                                     |                                                          |          |
|         | 種豚           | 所有・管理  | 事故除外しない<br>事故除外( 1 ・ 2 )                                                                                 |                                                          |          |
| 疾病傷害共済  | 乳用牛          | 所有・管理  |                                                                                                          | 選択あり・選択なし                                                |          |
|         | 肉用牛          | 所有・管理  |                                                                                                          | 選択あり・選択なし                                                |          |
|         | 一般馬          | 所有・管理  |                                                                                                          |                                                          |          |
|         | 種豚           | 所有・管理  |                                                                                                          |                                                          |          |

(注)加入申込をする家畜共済の種類等に○印を付けてください。

また、3ページ以降の頭数申告表に頭数等を記入してください。

(※1)事故除外方式での加入を希望する場合には、除外できる事故に応じて1又は2を選択してください。

除外できる事故については、裏面を参照してください。

(※2)飼養場所欄には、飼養する場所が住所地と異なる場合に、その場所の所在地を全て記入してください。

#### 〔確約事項〕

1. 加入する包括共済家畜区分に属する家畜は全頭加入します。
2. 重要事項説明書を了知した上で申し込みます。

#### 〔注意事項〕

1. 当該加入申込書により、告知した事項について、故意若しくは重大な過失により事実の告知をせず、又は不実の告知をしたときは、当該共済関係を解除することがあります。
2. 記入事項に誤り又は変更があった場合には速やかに届け出てください。

・除外できる事故

事故除外区分( 1 ): 搾乳牛、育成乳牛、繁殖用雌馬又は育成・肥育馬

- 1 火災、伝染性の疾病(家畜伝染病予防法第2条第1項に規定する家畜伝染病及び同法第4条第1項に規定する届出伝染病に限る。)又は風水害その他気象上の原因(地震及び噴火を含む。)による死亡及び廃用以外の死亡及び廃用

事故除外区分( 1 ・ 2 ): 繁殖用雌牛、育成・肥育牛及び種豚

- 1 火災、伝染性の疾病(家畜伝染病予防法第2条第1項に規定する家畜伝染病及び同法第4条第1項に規定する届出伝染病に限る。)又は風水害その他気象上の原因(地震及び噴火を含む。)による死亡及び廃用以外の死亡及び廃用
- 2 規則第49条第1項第1号から第3号までに掲げる場合における廃用

(参考)

規則第49条第1項

第1号 疾病又は不慮の傷害(第3号に掲げる疾病及び傷害を除く。)によって死にひんしたとき

第2号 不慮の災厄によって救うことのできない状態に陥ったとき(家畜伝染病予防法第58条第2項の規定による特別手当金又は同法第60条の2第1項の規定による補償金の交付の原因となると殺又は殺処分が行われることが判明したときを除く。)

第3号 骨折、は行若しくは両眼失明又は牛白血病、伝達性海綿状脳症その他農林水産大臣が指定する疾病若しくは不慮の傷害※であつて、治癒の見込みのないものによって使用価値を失ったとき

※農林水産大臣が指定する疾病若しくは不慮の傷害

1 創傷性心のう炎

2 放線菌症、歯牙疾患、顔面神経まひ又は不慮の舌断裂で採食不能となるもの

その他参考事項(共済掛金納入方法、病畜の状況等)

(種豚にあつては画像において行う事故確認の適用についての希望の有無を含む。)

頭数申告表 (死亡廃用共済)

(1) 固定資産的家畜(搾乳牛、繁殖用雌牛、繁殖用雌馬、種豚)

【区分】

|          |   |
|----------|---|
| 包括共済家畜区分 |   |
| 品 種      |   |
| 用途 ・ 性別  | . |

【申告頭数】

ア 期首時点で飼養している家畜の月齢別頭数(満月齢別)

|    |      |    |                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|------|----|-----------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月齢 | 24   | 25 | 26                                                              | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数 |      |    |                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 36   | 37 | 38                                                              | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 |
| 頭数 |      |    |                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 48   | 49 | 50                                                              | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 |
| 頭数 |      |    |                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 60   | 61 | 62                                                              | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 |
| 頭数 |      |    |                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 72   | 73 | 74                                                              | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 |
| 頭数 |      |    |                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 84   | 85 | 86                                                              | 87 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 |
| 頭数 |      |    |                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 96以上 | 計  | ※繁殖用雌馬及び種豚は当該家畜に対応する月齢を記載する。<br>最高月齢は、価額評価基準の廃用家畜の最低価額となる月齢とする。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数 |      |    | 繁殖用雌牛の場合は特定登録牛の頭数 _____ 頭                                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

イ 期中に飼養することが見込まれる家畜の月齢別頭数(満月齢別)

|    |      |    |                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|------|----|-----------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月齢 | 24   | 25 | 26                                                              | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数 |      |    |                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 36   | 37 | 38                                                              | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 |
| 頭数 |      |    |                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 48   | 49 | 50                                                              | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 |
| 頭数 |      |    |                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 60   | 61 | 62                                                              | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 |
| 頭数 |      |    |                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 72   | 73 | 74                                                              | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 |
| 頭数 |      |    |                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 84   | 85 | 86                                                              | 87 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 |
| 頭数 |      |    |                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 96以上 | 計  | ※繁殖用雌馬及び種豚は当該家畜に対応する月齢を記載する。<br>最高月齢は、価額評価基準の廃用家畜の最低価額となる月齢とする。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数 |      |    |                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

- (注1) 期首時点で飼養している育成乳牛又は育成・肥育牛(育成・肥育馬)で、期中に搾乳牛又は繁殖用雌牛(繁殖用雌馬)になる予定のものは、満24月齢(満36月齢)の頭数に含める。
- (注2) 期中に導入する予定の牛(馬)で、導入時の予定月齢が満24月齢以上の牛(満36月齢以上の馬)は導入時の月齢とし、導入後、期中に搾乳牛にする予定の育成乳牛及び繁殖用雌牛にする予定の育成牛は満24月齢(繁殖用雌馬にする予定の育成馬は満36月齢)の頭数に含める。
- (注3) 養畜の業務の規模の著しい変更(拡大)に伴う見込頭数は除く。

(参考) 期中に養畜の業務の規模の変更を予定している場合、予定時期及び増加又は減少見込頭数を記載する。

・ 予定時期 年 月 頃

・ 拡大(頭数増加) 又は 縮小(頭数減少) 頭

(注) 期中の共済価額及び共済金額の変更に備えるための参考情報。

- (2) 棚卸資産的家畜(育成乳牛、育成・肥育牛(うち繁殖用雌牛にする予定の育成牛、出生予定の牛及び死亡胎児)、育成・肥育馬(うち繁殖用雌馬にする予定の育成馬))

【区分】

|          |   |
|----------|---|
| 包括共済家畜区分 |   |
| 品 種      |   |
| 用途 ・ 性別  | . |

【申告頭数】

ア 期首時点で飼養している家畜の月齢別頭数(満月齢別)

|    |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|-----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月齢 | 0  | 1                     | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 12 | 13                    | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 計  | ※育成・肥育馬は35月齢まで欄を追加する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

イ 期中に導入予定の家畜の頭数(導入年月別、導入月齢別の頭数(満月齢別))

導入予定年月:平成○年○月

|    |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|-----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月齢 | 0  | 1                     | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 12 | 13                    | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 計  | ※育成・肥育馬は35月齢まで欄を追加する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

導入予定年月:平成○年○月

|    |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|-----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月齢 | 0  | 1                     | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 12 | 13                    | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 計  | ※育成・肥育馬は35月齢まで欄を追加する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

導入予定年月:平成○年○月

|    |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|-----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月齢 | 0  | 1                     | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 12 | 13                    | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 計  | ※育成・肥育馬は35月齢まで欄を追加する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

導入予定年月:平成○年○月

|    |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|-----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月齢 | 0  | 1                     | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 12 | 13                    | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 計  | ※育成・肥育馬は35月齢まで欄を追加する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

|               |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------|----|-----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 導入予定年月:平成○年○月 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                     | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                    | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※育成・肥育馬は35月齢まで欄を追加する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

|               |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------|----|-----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 導入予定年月:平成○年○月 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                     | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                    | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※育成・肥育馬は35月齢まで欄を追加する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

|               |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------|----|-----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 導入予定年月:平成○年○月 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                     | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                    | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※育成・肥育馬は35月齢まで欄を追加する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

|               |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------|----|-----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 導入予定年月:平成○年○月 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                     | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                    | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※育成・肥育馬は35月齢まで欄を追加する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

|               |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------|----|-----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 導入予定年月:平成○年○月 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                     | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                    | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※育成・肥育馬は35月齢まで欄を追加する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

|               |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------|----|-----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 導入予定年月:平成○年○月 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                     | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                    | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※育成・肥育馬は35月齢まで欄を追加する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

|               |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------|----|-----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 導入予定年月:平成〇年〇月 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                     | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                    | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※育成・肥育馬は35月齢まで欄を追加する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 導入予定年月:平成〇年〇月 |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                     | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                    | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※育成・肥育馬は35月齢まで欄を追加する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

(注)養畜の業務の規模の著しい変更(拡大)に伴う見込頭数を除く。

### ※〔育成乳牛〕子牛等選択ありの場合

|                                              |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
|----------------------------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| ウ 期中に出生させる予定の当該品種の子牛の頭数(期中に導入予定の母牛に係るものを含む。) |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
| 出生予定年月                                       | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 |
| 出生させる<br>予定の頭数                               |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
| うち雌の予<br>定頭数                                 |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |

(注1) 出生予定年月別の予定頭数を記入する。

(注2) 雌の予定頭数は、原則として1/2とする。

なお、年間合計で1/2となるよう各月の端数を調整する。

また、性判別受精卵・精液等により雌雄の産み分けを行う場合は、これを加味した頭数とする。

(注3) 養畜の業務の規模の著しい変更(拡大)に伴う見込頭数を除く。

|                     |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
|---------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| エ 直近1年間の当該品種の胎児死の頭数 |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
| 死亡年月                | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 |
| 頭数                  |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |

(注) 死亡年月別に頭数を記入する。

### ※〔育成乳牛〕子牛等選択なしの場合

|                                                                                    |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
|------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| ウ 期中に出生させる予定の当該品種の子牛(期中に導入予定の母牛に係るものを含む。)のうち、期中に出生後第5月の月の末日を超えて育成乳牛として飼養する予定のものの頭数 |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
| 出生予定年月                                                                             | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 | 〇年<br>〇月 |
| 頭数                                                                                 |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |

(注1) 出生予定年月別に期中に出生後第5月の月の末日を超えて飼養する予定のものの頭数を記入する。

(注2) 養畜の業務の規模の著しい変更(拡大)に伴う見込頭数を除く。

※ 月齢引下げが行われている場合は、「第5月」を修正する。

※〔育成・肥育牛〕子牛等選択ありの場合

ウ 期中に出生させる予定の当該品種の子牛の頭数(期中に導入予定の母牛に係るものを含む。)

| 出生予定<br>年月                               | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 |
|------------------------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 出生させる<br>予定の頭数<br>①                      |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
| ①のうち雌<br>の予定頭<br>数<br>②                  |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
| ②のうち<br>自ら繁殖<br>用雌牛に<br>する予定<br>の頭数<br>③ |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
| ②のうち<br>自ら肥育<br>牛にする<br>予定の<br>頭数<br>④   |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
| ②のうち<br>③及び④<br>以外のも<br>のの頭<br>数<br>⑤    |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
| ①のうち雄<br>の予定頭<br>数<br>⑥                  |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
| ⑥のうち<br>自ら肥育<br>牛にする<br>予定の<br>頭数<br>⑦   |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
| ⑥のうち<br>⑦以外<br>のもの<br>の頭数<br>⑧           |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |

(注1) 出生予定年月別の予定頭数を記入する。

(注2) 出生後第5月の月の末日を経過する前に出荷等により飼養しなくなる予定のものを  
含む。

(注3) 雌雄の予定頭数は、原則として1/2とするが、性判別受精卵・精液等により雌雄の  
産み分けを行う場合は、これを加味した頭数とする。

(注4) 養畜の業務の規模の著しい変更(拡大)に伴う見込頭数を除く。

※ 月齢引下げが行われている場合は、「第5月」を修正する。

エ 直近1年間の当該品種の胎児死の頭数

| 死亡年月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 頭数   |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |

(注) 死亡年月別に頭数を記入する。

※〔育成・肥育牛〕子牛等選択なしの場合

| ウ 期中に出生させる予定の当該品種の子牛(期中に導入予定の母牛に係るものを含む。)のうち、期中に出生後第5月の月の末日を超えて飼養する予定のものの頭数 |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
|-----------------------------------------------------------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 出生予定<br>年月                                                                  | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 | ○年<br>○月 |
| 自ら繁殖用<br>雌牛にする<br>予定の頭数                                                     |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
| 自ら肥育牛<br>にする予定<br>の雌の頭数                                                     |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
| 自ら肥育牛<br>にする予定<br>の雄の頭数                                                     |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
| 上記以外の<br>雄の頭数                                                               |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |

(注1) 出生予定年月別に期中に出生後第5月の月の末日を超えて飼養する予定のものの頭数を記入する。

(注2) 養畜の業務の規模の著しい変更(拡大)に伴う見込頭数を除く。

※ 月齢引下げが行われている場合は、「第5月」を修正する。

(3) 棚卸資産的家畜(育成・肥育牛(育成牛以外)、育成・肥育馬(育成馬以外))

【区分】

|          |   |
|----------|---|
| 包括共済家畜区分 |   |
| 品 種      |   |
| 用途・性別    | . |

【申告頭数】

ア 期首時点で飼養している家畜の月齢別頭数(満月齢別)

|    |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|-------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月齢 | 0  | 1                             | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 12 | 13                            | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 24 | 25                            | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 36 |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 計  | ※ 月齢欄に記載する月齢は、地域の実情に合わせて記載する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

(注) 月齢欄にない月齢の家畜は、空欄に月齢及び頭数を記入する。

イ 期中に導入予定の家畜の頭数(導入年月別、導入月齢別の頭数(満月齢別))

導入予定年月:平成○年○月

|    |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|-------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月齢 | 0  | 1                             | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 12 | 13                            | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 24 | 25                            | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 36 |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 計  | ※ 月齢欄に記載する月齢は、地域の実情に合わせて記載する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

導入予定年月:平成○年○月

|    |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|-------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月齢 | 0  | 1                             | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 12 | 13                            | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 24 | 25                            | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 36 |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢 | 計  | ※ 月齢欄に記載する月齢は、地域の実情に合わせて記載する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

|               |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------|----|-------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 導入予定年月:平成○年○月 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                             | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                            | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 24 | 25                            | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 36 |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※ 月齢欄に記載する月齢は、地域の実情に合わせて記載する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 導入予定年月:平成○年○月 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                             | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                            | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 24 | 25                            | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 36 |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※ 月齢欄に記載する月齢は、地域の実情に合わせて記載する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 導入予定年月:平成○年○月 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                             | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                            | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 24 | 25                            | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 36 |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※ 月齢欄に記載する月齢は、地域の実情に合わせて記載する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 導入予定年月:平成○年○月 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                             | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                            | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 24 | 25                            | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 36 |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※ 月齢欄に記載する月齢は、地域の実情に合わせて記載する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

|               |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------|----|-------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 導入予定年月:平成○年○月 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                             | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                            | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 24 | 25                            | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 36 |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※ 月齢欄に記載する月齢は、地域の実情に合わせて記載する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

|               |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------|----|-------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 導入予定年月:平成○年○月 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                             | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                            | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 24 | 25                            | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 36 |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※ 月齢欄に記載する月齢は、地域の実情に合わせて記載する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

|               |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------|----|-------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 導入予定年月:平成○年○月 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                             | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                            | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 24 | 25                            | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 36 |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※ 月齢欄に記載する月齢は、地域の実情に合わせて記載する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

|               |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------|----|-------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 導入予定年月:平成○年○月 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                             | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                            | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 24 | 25                            | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 36 |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※ 月齢欄に記載する月齢は、地域の実情に合わせて記載する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

|               |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------|----|-------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 導入予定年月:平成○年○月 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                             | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                            | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 24 | 25                            | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 36 |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※ 月齢欄に記載する月齢は、地域の実情に合わせて記載する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

|               |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------|----|-------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 導入予定年月:平成○年○月 |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 0  | 1                             | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 12 | 13                            | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 24 | 25                            | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 36 |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢            | 計  | ※ 月齢欄に記載する月齢は、地域の実情に合わせて記載する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数            |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

(注1) 月齢欄にない月齢の家畜は、空欄に月齢及び頭数を記入する。

(注2) 養畜の業務の規模の著しい変更(拡大)に伴う見込頭数を除く。

|                                              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|----------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| (参考)期中に養畜の業務の規模の変更を予定している場合の予定時期及び増加又は減少見込頭数 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・ 予定時期 平成 年 月頃                               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・ 拡大(頭数増加) or 縮小(頭数減少) 頭                     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

(注)期中の共済価額及び共済金額の変更に備えるための参考情報。

# 頭数申告表 (疾病傷害共済)

## 【区分】

|          |   |
|----------|---|
| 包括共済家畜区分 |   |
| 品 種      |   |
| 用途 ・ 性別  | . |

## 【申告頭数】

期首時点で飼養している家畜の月齢別頭数(満月齢別)

| ア 固定資産的家畜に該当するもの<br>(搾乳牛(乳用牛)、繁殖用雌牛(肉用牛)、繁殖用雌馬(一般馬)又は種豚) |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----------------------------------------------------------|------|----|---------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月 齢                                                      | 24   | 25 | 26                                                            | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭 数                                                      |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月 齢                                                      | 36   | 37 | 38                                                            | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 |
| 頭 数                                                      |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月 齢                                                      | 48   | 49 | 50                                                            | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 |
| 頭 数                                                      |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月 齢                                                      | 60   | 61 | 62                                                            | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 |
| 頭 数                                                      |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月 齢                                                      | 72   | 73 | 74                                                            | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 |
| 頭 数                                                      |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月 齢                                                      | 84   | 85 | 86                                                            | 87 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 |
| 頭 数                                                      |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月 齢                                                      | 96以上 | 計  | ※一般馬及び種豚は当該家畜に対応する月齢を記載する。<br>最高月齢は、価額評価基準の廃用家畜の最低価額となる月齢とする。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭 数                                                      |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 繁殖用雌牛の場合は特定登録牛の頭数                                        |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|                                                          |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    | 頭  |

| イ 棚卸資産的家畜に該当するもの<br>(育成乳牛(乳用牛)、育成牛(肉用牛)、育成馬(一般馬)) |    |                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------------------------------------------|----|--------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月 齢                                               | 0  | 1                  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭 数                                               |    |                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月 齢                                               | 12 | 13                 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭 数                                               |    |                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月 齢                                               | 計  | ※一般馬は35月齢まで欄を追加する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭 数                                               |    |                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

(注1) 牛は、子牛を選択しない場合は、出生後第5月の月の末日を経過しているもののみの頭数とする。

(注2) 馬は、出生の年の末日を経過しているもののみの頭数とする。

※ 月齢引下げが行われている場合は、「第5月」又は「出生の年の末日」を修正する。

| ウ 棚卸資産的家畜に該当するもの<br>(肥育牛(肉用牛)、肥育馬(一般馬)) |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-----------------------------------------|----|-------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月齢                                      | 0  | 1                             | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                      | 12 | 13                            | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                      | 24 | 25                            | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                      | 計  | ※ 月齢欄に記載する月齢は、地域の実情に合わせて記載する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

(注1) 月齢欄にない月齢の家畜は、空欄に月齢及び頭数を記入する。

(注2) 牛は、子牛を選択しない場合は、出生後第5月の月の末日を経過しているもののみの頭数とする。

(注3) 馬は、出生の年の末日を経過しているもののみの頭数とする。

※ 月齢引下げが行われている場合は、「第5月」又は「出生の年の末日」を修正する。

様式例1-2

家畜共済加入申込書（特定肉豚）  
（兼 継続加入通知書）

〇〇農業共済組合組合長理事

（〇〇市町村長又は全国農業共済組合連合会会長理事）

平成 年 月 日

殿

住 所

市  
郡

町  
字  
村

氏 名

印

下記の肉豚を引受けされたく定款及び事業規程（条例）を了知した上、申し込みます。

|                   |                |                                           |                |                |
|-------------------|----------------|-------------------------------------------|----------------|----------------|
| 現在有資格頭数           | 出荷予定頭数         | 事故除外区分<br>〔飼養頭数200頭以上かつ<br>飼養経験年数5年以上の場合〕 |                |                |
|                   |                | 事故除外する ・ 事故除外しない                          |                |                |
| 母豚常時飼養頭数          | 現在母豚頭数         | 分納回数                                      | 付保割合           |                |
|                   |                |                                           |                |                |
| 飼 養 場 所           |                |                                           |                |                |
| 畜 舎 種 類 別 敷 地 面 積 |                |                                           |                |                |
| 母豚舎               | 分娩舎            | 離乳舎                                       | 育成舎            | 肥育舎            |
| m <sup>2</sup>    | m <sup>2</sup> | m <sup>2</sup>                            | m <sup>2</sup> | m <sup>2</sup> |

〔過去の飼養状況〕

|            | 年 | 年 | 年 |
|------------|---|---|---|
| 一腹当たり平均産子数 |   |   |   |
| 年間平均分娩回数   |   |   |   |
| 子豚の死亡率     |   |   |   |
| 出荷頭数       |   |   |   |
| 肥育回転率      |   |   |   |

画像において行う事故確認の適用についての希望の有無

有 ・ 無

〔確約事項〕

- 1 加入申込時及び継続加入時には、現に飼養する加入資格のある肉豚の頭数を全頭加入します。
- 2 貴組合（市町村）が、引受け及び事故の確認等を行う際には、豚舎への立入りを拒否しません。
- 3 肉豚の生産、導入、離乳、死亡、販売、繁殖仕向け等の異動の状況を記録し、基準日ごとに遅滞なく通知します。

〔注意事項〕

- 1 当該加入申込書により、告知した事項について、故意若しくは重大な過失により事実の告知をせず、又は不実の告知をしたときは、当該共済関係を解除することがあります。
- 2 記入事項に誤り又は変更があった場合には速やかに届け出て下さい。

様式例1－3

家畜共済加入申込書（群単位肉豚）  
（兼 異動通知書）

平成 年 月 日

〇〇農業共済組合組合長理事  
（〇〇市町村長又は全国農業共済組合連合会会長理事） 殿

住所 市 町字  
郡 村

氏 名



下記の肉豚を引受けされたく定款及び事業規程（条例）を了知した上、申し込みます。

| 1頭当たり共済金額 |                | 円  |      | 年間出荷予定頭数 |            | 頭    |
|-----------|----------------|----|------|----------|------------|------|
| 申込年月日     | 資格取得・<br>導入年月日 | 頭数 | 生年月日 | 離乳年月日    | 所 有<br>管理別 | 飼養場所 |
|           |                | 頭  |      |          | 所有・管理      |      |
|           |                |    |      |          | 所有・管理      |      |
|           |                |    |      |          | 所有・管理      |      |
|           |                |    |      |          | 所有・管理      |      |
|           |                |    |      |          | 所有・管理      |      |
|           |                |    |      |          | 所有・管理      |      |
|           |                |    |      |          | 所有・管理      |      |
|           |                |    |      |          | 所有・管理      |      |
|           |                |    |      |          | 所有・管理      |      |

|                           |       |
|---------------------------|-------|
| 画像において行う事故確認の適用についての希望の有無 | 有 ・ 無 |
|---------------------------|-------|

〔確約事項〕

- 貴組合（市町村）が引受け及び事故の確認等を行う際には、豚舎への立ち入りを拒否しません。
- 飼養群内の全ての肉豚が生後20日に達したとき（その日に離乳していないときは離乳した日）又は肥育用もと豚を導入したときは、貴組合（市町村）に異動の通知をし、遅滞なく共済掛金を払い込みます。
- 肉豚の生産、導入、離乳、死亡、販売、繁殖仕向け等の異動の状況を記録し、貴組合（市町村）から要求のあったときは提示します。

〔注意事項〕

- 当該加入申込書により、告知した事項について、故意若しくは重大な過失により事実の告知をせず、又は不実の告知をしたときは、当該共済関係を解除することがあります。
- 記入事項に誤り又は変更があった場合には速やかに届け出て下さい。

様式例1-4

家畜共済加入申込書（個別共済）  
（兼 継続加入通知書）

平成 年 月 日

〇〇農業共済組合組合長理事

（〇〇市町村長又は全国農業共済組合連合会会長理事）

殿

住所

市  
郡

町  
字  
村

氏 名



下記の家畜を引受けされたく定款及び事業規程（条例）を了知した上、申し込みます。

| 共 済 目 的 の 種 類 | 頭 数   |       | 飼 養 場 所 |
|---------------|-------|-------|---------|
| 乳 用 種 種 雄 牛   | (死 廃) | (病 傷) |         |
| 肉 用 種 種 雄 牛   | (死 廃) | (病 傷) |         |
| 種 雄 馬         | (死 廃) | (病 傷) |         |

申込家畜の内訳

| 加入の有無<br>(〇印を付ける) | 番 号 | 名 号 | 生 年 月 日 | 所 有 管 理 別 | 毛 色 ・ 特 徴 |
|-------------------|-----|-----|---------|-----------|-----------|
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |
| 死 廃 ・ 病 傷         |     |     |         | 所 有 ・ 管 理 |           |

〔注意事項〕

- 1 当該加入申込書により、告知した事項について、故意若しくは重大な過失により事実の告知をせず、又は不実の告知をしたときは、当該共済関係を解除することがあります。
- 2 記入事項に誤り又は変更があった場合には速やかに届け出て下さい。

# 疾病傷害共済の異動頭数申告表

※異動日ごとに作成する。

異動日： 年 月 日

組合員等番号

組合員等氏名

## 【区分】

|          |   |
|----------|---|
| 包括共済家畜区分 |   |
| 品 種      |   |
| 用途 ・ 性別  | . |

## 【申告頭数】

## 1 異動に係る家畜の月齢別頭数(満月齢別)

※異動が頭数の増加の場合は当該増加した頭数とし、異動が養畜の業務の規模の著しい変更に伴う頭数の減少の場合は当該減少した頭数とする。

| ア 固定資産的家畜に該当するもの<br>(搾乳牛(乳用牛)、繁殖用雌牛(肉用牛)、繁殖用雌馬(一般馬)又は種豚) |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----------------------------------------------------------|------|----|---------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月 齢                                                      | 24   | 25 | 26                                                            | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭 数                                                      |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月 齢                                                      | 36   | 37 | 38                                                            | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 |
| 頭 数                                                      |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月 齢                                                      | 48   | 49 | 50                                                            | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 |
| 頭 数                                                      |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月 齢                                                      | 60   | 61 | 62                                                            | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 |
| 頭 数                                                      |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月 齢                                                      | 72   | 73 | 74                                                            | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 |
| 頭 数                                                      |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月 齢                                                      | 84   | 85 | 86                                                            | 87 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 |
| 頭 数                                                      |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月 齢                                                      | 96以上 | 計  | ※一般馬及び種豚は当該家畜に対応する月齢を記載する。<br>最高月齢は、価額評価基準の廃用家畜の最低価額となる月齢とする。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭 数                                                      |      |    | 繁殖用雌牛の場合は特定登録牛の頭数 _____ 頭                                     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

## イ 棚卸資産的家畜に該当するもの (育成乳牛(乳用牛)、育成牛(肉用牛)、育成馬(一般馬))

|     |    |                        |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-----|----|------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月 齢 | 0  | 1                      | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭 数 |    |                        |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月 齢 | 12 | 13                     | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭 数 |    |                        |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月 齢 | 計  | ※育成・肥育馬用は35月齢まで欄を追加する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭 数 |    |                        |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

(注1) 牛は、子牛を選択しない場合は、出生後第5月の月の末日を経過しているもののみの頭数とする。

(注2) 馬は、出生の年の末日を経過しているもののみの頭数とする。

※ 月齢引下げが行われている場合は、「第5月」又は「出生の年の末日」を修正する。

| ウ 棚卸資産的家畜に該当するもの<br>(肥育牛(肉用牛)、肥育馬(一般馬)) |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-----------------------------------------|----|-------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月齢                                      | 0  | 1                             | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                      | 12 | 13                            | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                      | 24 | 25                            | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                      | 計  | ※ 月齢欄に記載する月齢は、地域の実情に合わせて記載する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

(注1) 月齢欄にない月齢の家畜は、空欄に月齢及び頭数を記入する。

(注2) 牛は、子牛を選択しない場合は、出生後第5月の月の末日を経過しているもののみの頭数とする。

(注3) 馬は、出生の年の末日を経過しているもののみの頭数とする。

※ 月齢引下げが行われている場合は、「第5月」又は「出生の年の末日」を修正する。

## 2 異動後の飼養家畜の月齢別頭数(満月齢別)

※異動が頭数の増加の場合は、当該異動日に出荷等により減少した頭数を差し引いた頭数とする。

| ア 固定資産的家畜に該当するもの<br>(搾乳牛(乳用牛)、繁殖用雌牛(肉用牛)、繁殖用雌馬(一般馬)又は種豚) |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----------------------------------------------------------|------|----|---------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月齢                                                       | 24   | 25 | 26                                                            | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数                                                       |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                                       | 36   | 37 | 38                                                            | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 |
| 頭数                                                       |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                                       | 48   | 49 | 50                                                            | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 |
| 頭数                                                       |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                                       | 60   | 61 | 62                                                            | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 |
| 頭数                                                       |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                                       | 72   | 73 | 74                                                            | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 |
| 頭数                                                       |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                                       | 84   | 85 | 86                                                            | 87 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 |
| 頭数                                                       |      |    |                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                                       | 96以上 | 計  | ※一般馬及び種豚は当該家畜に対応する月齢を記載する。<br>最高月齢は、価額評価基準の廃用家畜の最低価額となる月齢とする。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数                                                       |      |    | 繁殖用雌牛の場合は特定登録牛の頭数 _____ 頭                                     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

| イ 棚卸資産的家畜に該当するもの<br>(育成乳牛(乳用牛)、育成牛(肉用牛)、育成馬(一般馬)) |    |                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------------------------------------------|----|--------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月齢                                                | 0  | 1                  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数                                                |    |                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                                | 12 | 13                 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数                                                |    |                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                                | 計  | ※一般馬は35月齢まで欄を追加する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数                                                |    |                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

(注1) 牛は、子牛を選択しない場合は、出生後第5月の月の末日を経過しているもののみの頭数とする。

(注2) 馬は、出生の年の末日を経過しているもののみの頭数とする。

※ 月齢引下げが行われている場合は、「第5月」又は「出生の年の末日」を修正する。

| ウ 棚卸資産的家畜に該当するもの<br>(肥育牛(肉用牛)、肥育馬(一般馬)) |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-----------------------------------------|----|-------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 月齢                                      | 0  | 1                             | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 頭数                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                      | 12 | 13                            | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 頭数                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                      | 24 | 25                            | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 頭数                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 月齢                                      | 計  | ※ 月齢欄に記載する月齢は、地域の実情に合わせて記載する。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 頭数                                      |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

(注1) 月齢欄にない月齢の家畜は、空欄に月齢及び頭数を記入する。

(注2) 牛は、子牛を選択しない場合は、出生後第5月の月の末日を経過しているもののみの頭数とする。

(注3) 馬は、出生の年の末日を経過しているもののみの頭数とする。

※ 月齢引下げが行われている場合は、「第5月」又は「出生の年の末日」を修正する。

様式例1－6

| 肉 豚 共 済 管 理 簿 |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
|---------------|--------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|----------------------------|------------------|------------------|--------|
| 平成 年 月 日      |        |                  | 氏 名              |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 日<br>付        | 区<br>分 | 産<br>子<br>頭<br>数 | 離<br>乳<br>頭<br>数 | 導<br>入<br>頭<br>数 | 死<br>亡<br>頭<br>数 | 出<br>荷<br>頭<br>数 | 繁<br>殖<br>仕<br>向<br>頭<br>数 | 現<br>在<br>頭<br>数 | 母<br>豚<br>頭<br>数 | 備<br>考 |
| 前月繰り越し        |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 1             |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 2             |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 3             |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 4             |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 5             |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 6             |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 7             |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 8             |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 9             |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 10            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 11            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 12            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 13            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 14            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 15            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 16            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 17            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 18            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 19            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 20            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 21            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 22            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 23            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 24            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 25            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 26            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 27            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 28            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 29            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 30            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 31            |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |
| 計             |        |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                  |                  |        |

様式例1－7

特定肉豚に係る異動通知書

平成 年 月 日

〇〇農業共済組合組合長理事  
(〇〇市町村長又は全国農業共済組合連合会会長理事) 殿

住所 市・郡

氏 名 印

平成 年 月 日 ～ 月 日の基準期間における異動状況は、  
下記のとおりです。

| 産 子<br>頭 数 | 離 乳<br>頭 数 | 導 入<br>頭 数 | 当 月<br>引受頭数 |
|------------|------------|------------|-------------|
|            |            |            |             |

| 死 亡<br>頭 数 | 出 荷<br>頭 数 | 繁 殖<br>仕向頭数 | 母 豚<br>頭 数 |
|------------|------------|-------------|------------|
|            |            |             |            |

(注1) 肉豚共済管理簿(様式例1-6)から転記する。なお、当該管理簿の写しをもってこれに代えることができる。

(注2) 「母豚頭数」欄には、新たな基準期間開始時の母豚の飼養頭数を記入すること。

〈備考〉

様式例 1－8

家畜共済保険関係協議書

〇〇県（都道府）農業共済組合連合会

〇〇農業共済組合

（〇〇村（市町））

〇〇県農業共済組合連合会と〇〇農業共済組合（〇〇村（市町））は、連合会事業規程第□□条の規定により、家畜共済に係る保険関係につき、別記のとおり協議決定する。この協議決定に係る事項について変更する必要があるときは、あらためて協議決定するものとする。

平成 年 月 日

〇〇県（都道府）農業共済組合連合会

会長理事 何 某 印

〇 〇 農 業 共 済 組 合

組合長理事 何 某 印

（ 〇〇村（市町）  
村（市町）長 何 某 印 ）

別 記

決定事項

(1) 「イ」の保険関係に係る家畜

〇〇農業共済組合（〇〇村（市町））の区域（事業実施区域）のうち、△△の区域内に住所を有する組合員（家畜共済加入者）が飼養する家畜

(2) 「ロ」の保険関係に係る家畜

〇〇農業共済組合（〇〇村（市町））の区域（事業実施区域）のうち、△△の区域内に住所を有する組合員（家畜共済加入者）が飼養する家畜

注) □□には、各県（都道府）連合会の事業規程中、連合会模範事業規程例第39条に該当する条文番号を記入する。

様式例2-1

家畜共済(死亡廃用共済)加入承諾及び掛金等納入告知(分納通知)書 兼 領収証書 家畜共済(死亡廃用共済)掛金等領収済通知書 家畜共済(死亡廃用共済)掛金等収納機関控

年 月 日 引受

納入者へ

年 月 日 引受 組合等へ

年 月 日 引受 収納機関へ

|                                            |               |           |       |     |  |
|--------------------------------------------|---------------|-----------|-------|-----|--|
| (住所)<br>〒                                  | 納付場所          |           |       |     |  |
| (氏名)                                       | 殿             |           |       |     |  |
| 家畜共済(死亡廃用共済)への加入申込みを承諾したので右記のとおり納入して下さい。   | 共 済 関 係       | 納 付 額 内 訳 |       | 内 訳 |  |
|                                            |               | 共済掛金 円    | 賦課金 円 |     |  |
|                                            |               |           |       |     |  |
|                                            | 農 家 番 号       | 分 納 額     | 納 付 額 | 円   |  |
|                                            |               | 回目 /      |       |     |  |
| 引受頭数                                       | 頭             | 共済金額      |       | 円   |  |
|                                            |               |           |       |     |  |
| 口座 種別                                      | 口座 番号         |           |       |     |  |
| 納期限                                        | 平成 年 月 日      |           |       |     |  |
| 平成 年 月 日                                   | 上記の金額を領収しました。 |           | 領収印   |     |  |
| 〇〇農業共済組合組合長理事<br>(〇〇市町村長又は全国農業共済組合連合会会長理事) |               |           |       |     |  |

|                                              |           |       |     |  |  |
|----------------------------------------------|-----------|-------|-----|--|--|
| (住所)<br>〒                                    | 納付者住所氏名   |       |     |  |  |
| (氏名)                                         | 殿         |       |     |  |  |
| 共 済 関 係                                      | 納 付 額 内 訳 |       | 内 訳 |  |  |
|                                              | 共済掛金 円    | 賦課金 円 |     |  |  |
|                                              |           |       |     |  |  |
| 農 家 番 号                                      | 分 納 額     | 納 付 額 | 円   |  |  |
|                                              | 回目 /      |       |     |  |  |
|                                              |           |       |     |  |  |
| 口座 種別                                        | 口座 番号     |       |     |  |  |
| 納期限                                          | 平成 年 月 日  |       |     |  |  |
| 上記の金額を領収しましたので通知します。                         |           | 領収印   |     |  |  |
| 〇〇農業共済組合組合長理事<br>(〇〇市町村長又は全国農業共済組合連合会会長理事) 殿 |           |       |     |  |  |

|                   |           |       |     |  |
|-------------------|-----------|-------|-----|--|
| 納付者住所氏名           |           |       |     |  |
| (住所)<br>〒         |           |       |     |  |
| (氏名)              |           |       |     |  |
| 共 済 関 係           | 納 付 額 内 訳 |       | 内 訳 |  |
|                   | 共済掛金 円    | 賦課金 円 |     |  |
|                   |           |       |     |  |
| 農 家 番 号           | 分 納 額     | 納 付 額 | 円   |  |
|                   | 回目 /      |       |     |  |
| 口座名義人             |           |       |     |  |
| 口座 種別             | 口座 番号     |       |     |  |
| 納期限               | 平成 年 月 日  |       |     |  |
| 上記の金額の振替納入を依頼します。 |           | 領収印   |     |  |
| 氏名 印              |           |       |     |  |



様式例3-1

〒

住所氏名  
氏名  
電話

(飼養場所

)

| 地区コード | 組合員等コード | 引受年度 | 区分 | 料率地域 | 賦課地域 |
|-------|---------|------|----|------|------|
|       |         |      |    |      |      |

【包】死亡廃用共済 引受台帳（肉豚を除く。）

平成 年 月 日 作成

| 包括共済家畜区分 | 短期月数 | 共済掛金受領   | 共済掛金期間開始 | 共済掛金期間満了 | 危険段階区分 | 事故除外区分 | 死傷限度適用除外 | 子牛等の選択 |
|----------|------|----------|----------|----------|--------|--------|----------|--------|
|          | か月   | 平成 年 月 日 | 平成 年 月 日 | 平成 年 月 日 |        |        |          |        |

|       | 頭数 | 共済価額<br>千円 | 共済金額<br>円 | 付保割合<br>% | 共済掛金<br>円 | 国庫負担額<br>円 | 組合員等負担額   |                    |            | 死傷共済金<br>支払限度額<br>円 | 変更<br>年月日 |
|-------|----|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|--------------------|------------|---------------------|-----------|
|       |    |            |           |           |           |            | 共済掛金<br>円 | (組合員等割)事務費賦課金<br>円 | 防災賦課金<br>円 | 計<br>円              |           |
| 期首    |    |            |           |           |           |            |           |                    |            |                     |           |
| 期中変更後 |    |            |           |           |           |            |           |                    |            |                     |           |
| 期末    |    |            |           |           |           |            |           |                    |            |                     |           |

| 分納金         | 第1回目 | 第2回目 | 第3回目 | 第4回目 |
|-------------|------|------|------|------|
| 共済掛金<br>円   |      |      |      |      |
| 事務費賦課金<br>円 |      |      |      |      |
| 防災賦課金<br>円  |      |      |      |      |
| 合計<br>円     |      |      |      |      |
| 払込期限        |      |      |      |      |
| 共済掛金等受領日    |      |      |      |      |

備考

様式例3-2

〒

住所氏名  
氏名  
電話

(飼養場所

)

| 地区コード | 組合員等コード | 引受年度 | 区分 | 料率地域 | 賦課地域 |
|-------|---------|------|----|------|------|
|       |         |      |    |      |      |

【包】疾病傷害共済 引受台帳

平成 年 月 日 作成

| 包括共済<br>家畜区分 | 保険<br>関係 | 短期月数 | 共済掛金受領   | 共済掛金期間開始 | 共済掛金期間満了 | 危険段階区分 | 子牛選択 |
|--------------|----------|------|----------|----------|----------|--------|------|
|              |          | ヵ月   | 平成 年 月 日 | 平成 年 月 日 | 平成 年 月 日 |        |      |

|     | 頭数 | 価額合計<br>千円 | 支払限度額<br>算定価額<br>千円 | 病傷共済金<br>支払限度額<br>千円 | 共済金額<br>円 | 選択<br>割合<br>% | 国庫負担額<br>円 | 組 合 員 等 負 担 額 |                        |            | 変更<br>年月日 |
|-----|----|------------|---------------------|----------------------|-----------|---------------|------------|---------------|------------------------|------------|-----------|
|     |    |            |                     |                      |           |               |            | 共済掛金<br>円     | (組合員等割)<br>事務費賦課金<br>円 | 防災賦課金<br>円 |           |
| 期首  |    |            |                     |                      |           |               |            |               |                        |            |           |
| 変更後 |    |            |                     |                      |           |               |            |               |                        |            |           |

| 分 納             | 第 1 回 目 | 第 2 回 目 | 第 3 回 目 | 第 4 回 目 |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|
| 共 済 掛 金 円       |         |         |         |         |
| 事 務 費 賦 課 金 円   |         |         |         |         |
| 防災賦課金 円         |         |         |         |         |
| 合 計 円           |         |         |         |         |
| 払 込 期 限         |         |         |         |         |
| 共 済 掛 金 等 受 領 日 |         |         |         |         |

|    |
|----|
| 備考 |
|----|



肉豚共済引受台帳（群単位肉豚）

住所氏名  
電話番号

平成 年 月 日 作成

（飼養場所）

| 地区コード | 組合コード | 引受年度 | 区分 | 群番号 | 共済掛金期間 | 共済掛金受領   | 共済掛金期間開始 | 共済掛金期間満了 | 危険段階区分 | 死亡適用除外 |
|-------|-------|------|----|-----|--------|----------|----------|----------|--------|--------|
|       |       |      |    |     | か月     | 平成 年 月 日 | 平成 年 月 日 | 平成 年 月 日 |        |        |

| 1頭当たり    | 千円       | 円           | %     | 共済掛金  | 国庫負担額 | 組合員等負担額 |              |     |    | 死亡共済金支払限度額 |
|----------|----------|-------------|-------|-------|-------|---------|--------------|-----|----|------------|
| 頭数       | 共済価額     | 共済金額        | 付保割合  | 共済掛金  | 国庫負担額 | 共済掛金    | 事業費（うち組合員等割） | 防災費 | 課金 | 計          |
| 頭        | 千円       | 円           | %     | 円     | 円     | 円       | 円            | 円   | 円  | 円          |
|          |          |             |       |       |       | ( )     |              |     |    |            |
| 生年月日     | 離乳年月日    | 資格取得又は導入年月日 | 確認書番号 | 所有・管理 | 備考    |         |              |     |    |            |
| 平成 年 月 日 | 平成 年 月 日 | 平成 年 月 日    |       |       |       |         |              |     |    |            |

死亡廃用共済 引受台帳 (個別共済)

住所  
氏名  
電話

平成 年 月 日 作成

(飼養場所 )

| 地区コード | 組合員等<br>コード | 引受<br>年度 | 区分 |
|-------|-------------|----------|----|
|       |             |          |    |

| 短期月数 | 共済掛<br>金受領 | 共済掛金<br>期間開始 | 共済掛金<br>期間満了 | 危険段階<br>区分 |
|------|------------|--------------|--------------|------------|
| か月   |            |              |              |            |

| 共 済 目 的<br>の 種 類 | 共 済 価 額<br>千円 | 共 済 金 額<br>円 | 付 保<br>割 合<br>% | 共 済 掛 金<br>円 | 組 合 員 等 負 担 額 |                              |                |
|------------------|---------------|--------------|-----------------|--------------|---------------|------------------------------|----------------|
|                  |               |              |                 |              | 共 済 掛 金<br>円  | 事務費賦課金<br>(うち組合員等<br>割)<br>円 | 防 災 賦 課 金<br>円 |
|                  |               |              |                 |              |               |                              | 計<br>円         |
| 番 号              | 名             | 耳 標          | 号               | 生 年 月 日      | 毛 色 ・ 特 徴     |                              |                |
|                  |               |              |                 |              |               |                              |                |
|                  |               |              |                 |              | 品 種           | 登 録 証 番 号                    | 登 録 点 数        |
|                  |               |              |                 |              |               |                              | 所有・管理          |

疾病傷害共済 引受台帳 (個別共済)

住所  
氏名  
電話

平成 年 月 日 作成

(飼養場所 )

| 地区コード | 組合員等<br>コード | 引受<br>年度 | 区分 |
|-------|-------------|----------|----|
|       |             |          |    |

| 保険関係 | 短期月数 | 共済掛金<br>受領 | 共済掛金<br>期間開始 | 共済掛金<br>期間満了 | 危険段階<br>区分 |
|------|------|------------|--------------|--------------|------------|
|      | か月   |            |              |              |            |

| 共 済 目 的<br>の 種 類 | 病傷共済金<br>支払限度額<br>千円 | 共 済 金 額<br>円 | 選択<br>割合<br>% | 共済掛金<br>円 | 国 庫<br>負 担 額<br>円 | 組 合 員 等 負 担 額 |                              |            |        |
|------------------|----------------------|--------------|---------------|-----------|-------------------|---------------|------------------------------|------------|--------|
|                  |                      |              |               |           |                   | 共 済 掛 金<br>円  | 事務費賦課金<br>(うち組合員等<br>割)<br>円 | 防災賦課金<br>円 | 計<br>円 |
|                  |                      |              |               |           |                   |               |                              |            |        |
| 番 号              | 名                    | 号            | 耳 標           | 生 年 月 日   | 毛 色 ・ 特 徴         | 品 種           | 登録証番号                        | 登録点数       | 所有・管理  |
|                  |                      |              |               |           |                   |               |                              |            |        |

【包】死亡廃用共済 加入証（肉豚以外）

住所氏名電話番号

平成 年 月 日

〇〇農業共済組合長理事  
(〇〇市町村長又は全国農業共済組合連合会会長理事) 印

殿

)

)

地区コード

組合員等コード

引受年度

区分

共済関係成立日

短期月数

共済掛金期間開始

共済掛金期間満了

危険段階区分

事故除外区分

死廃限度  
適用除外

子牛等選択

共済事故

以下のとおり通知いたします。

|                |         |          |          |        |        |              |       |      |
|----------------|---------|----------|----------|--------|--------|--------------|-------|------|
| 地区コード          | 組合員等コード | 引受年度     | 区分       |        |        |              |       |      |
|                |         |          |          |        |        |              |       |      |
| 以下のとおり通知いたします。 |         |          |          |        |        |              |       |      |
| 共済関係成立日        | 短期月数    | 共済掛金期間開始 | 共済掛金期間満了 | 危険段階区分 | 事故除外区分 | 死廃限度<br>適用除外 | 子牛等選択 | 共済事故 |
|                | か月      | 平成 年 月 日 | 平成 年 月 日 |        |        |              |       |      |

| 包括共済<br>家畜区分 | 頭数 | 共済価額<br>千円 | 共済金額<br>円 | 付保割合<br>% | 共済掛金<br>円 | 国<br>負<br>担<br>額<br>円 | 組 合 員 等 負 担 額 |                        |            |        | 死廃共済金<br>支払限度額<br>円 |  |
|--------------|----|------------|-----------|-----------|-----------|-----------------------|---------------|------------------------|------------|--------|---------------------|--|
|              |    |            |           |           |           |                       | 共済掛金<br>円     | (組合員等割)<br>事務費賦課金<br>円 | 防災賦課金<br>円 | 計<br>円 |                     |  |
|              |    |            |           |           |           |                       |               |                        |            |        |                     |  |

| 納入区分             | 一括又は分納第1回分 | 分納第2回分 | 分納第3回分 | 分納第4回分 |
|------------------|------------|--------|--------|--------|
| 共 済 掛 金<br>円     |            |        |        |        |
| 事 務 費 賦 課 金<br>円 |            |        |        |        |
| 防 災 賦 課 金<br>円   |            |        |        |        |
| 合 計<br>円         |            |        |        |        |
| 払 込 期 限          |            |        |        |        |
| 払 込 方 法          | 口座振替       |        |        |        |

- [注意事項]
- 1 「共済価額」は、共済掛金期間中に変更があった場合には、当該変更後の共済価額となります。

2 「共済金額」は、共済金額が変更された場合には変更後の共済金額となります。

3 「付保割合」については、上記1及び2により増減した後の共済価額及び共済金額により算出された割合となります。

4 通知等すべき事項は別紙のとおりであり、当該事項が発生した場合には、速やかに組合等へ連絡して下さい。

5 上記4の通知等を怠り又は故意若しくは重大な過失によって不実の通知等をしたときは、共済金の全部又は一部について支払われないことがあります。

[組合等が本加入証を交付する際の注意事項]

- 1 「共済事故」欄に具体的内容を記載しない場合は、同欄に「別紙のとおり」と記載し、具体的内容を記載した別紙を作成するか、又は「裏面のとおり」と記載し、裏面に具体的内容を記載して組合員等に知らせること。

2 「通知等すべき事項」として、農業共済組合模範事業規程例の基準（平成16年1月9日付け15経営第5367号農林水産事務次官依命通知）第16条第1項第2号、第3項から第6項まで、第50条第3項及び第58条の通知等をするべき事項を記載した別紙を作成するか、又は裏面に記載して組合員等に知らせること。裏面に記載する場合は、[注意事項]4の「別紙」を「裏面」とすること。

なお、「共済事故」欄について、別紙を作成する場合は、これを「別紙1」とし、「別紙2」として通知すべき事項を記載するか又は「別紙」として共済事故の具体的内容及び通知すべき事項を併記すること。

【包】 疾病傷害共済 加入証

〇〇農業共済組合組合長理事  
(〇〇市町村長又は全国農業共済組合連合会会長理事) 印

(飼養場所)

| 地区コード | 組合員等コード | 引受年度 | 区分 |
|-------|---------|------|----|
|       |         |      |    |

農業保険法令、定款及び事業規程（条例）に従い引受けした家畜共済に係る共済関係について、  
以下のとおり通知いたします。

| 共済関係成立日 | 短期月数 | 共済掛金期間開始 | 共済掛金期間満了 | 危険段階区分 | 子牛選択 | 共済事故 |
|---------|------|----------|----------|--------|------|------|
|         | か月   | 平成 年 月 日 | 平成 年 月 日 |        |      |      |

| 包括共済<br>家畜区分 | 頭数 | 病傷共済金<br>支払限度額<br>千円 | 共済金額<br>円 | 選択割合<br>% | 共済掛金<br>円 | 組 合 員 等 負 担 額 |                        |            |
|--------------|----|----------------------|-----------|-----------|-----------|---------------|------------------------|------------|
|              |    |                      |           |           |           | 共済掛金<br>円     | (組合員等割)<br>事務費賦課金<br>円 | 防災賦課金<br>円 |
|              |    |                      |           |           |           |               |                        |            |

| 納入区分             | 一括又は分納第1回分 | 分納第2回分 | 分納第3回分 | 分納第4回分 |
|------------------|------------|--------|--------|--------|
| 共 済 掛 金<br>円     |            |        |        |        |
| 事 務 費 賦 課 金<br>円 |            |        |        |        |
| 防 災 賦 課 金<br>円   |            |        |        |        |
| 合 計<br>円         |            |        |        |        |
| 払 込 期 限          |            |        |        |        |
| 払 込 方 法          | 口座振替       |        |        |        |

〔注意事項〕

- 1 「共済金額」が変更された場合は、変更後の共済金額となります。
- 2 通知等すべき事項は別紙のとおりであり、当該事項が発生した場合には、速やかに組合等へ連絡して下さい。
- 3 上記2の通知等を怠り又は故意若しくは重大な過失によって不実の通知等をしたときは、共済金の全部又は一部について支払われないことがあります。

〔組合等が本加入証を交付する際の注意事項〕

- 1 「共済事故」欄に具体的内容を記載しない場合は、同欄に「別紙のとおり」と記載し、具体的内容を記載した別紙を作成するか、又は「裏面のとおり」と記載し、裏面に具体的内容を記載して組合員等に知らせること。
- 2 「通知等すべき事項」として、農業共済組合模範事業規程例の基準（平成16年1月9日付け15経営第5367号農林水産事務次官依命通知）第16条第3項から第6項まで、第50条第3項及び第58条の通知等をすべき事項を記載した別紙を作成するか、又は裏面に記載して組合員等に知らせること。裏面に記載する場合は、〔注意事項〕2の「別紙」を「裏面」とすること。

なお、「共済事故」欄について、別紙を作成する場合は、これを「別紙1」とし、「別紙2」として通知すべき事項を記載するか又は「別紙」として共済事故の具体的内容及び通知すべき事項を併記すること。

加入証（特定肉豚）

住所  
氏名  
電話

殿

平成 年 月 日

〇〇農業共済組合組合長理事  
(〇〇市町村長又は全国農業共済組合連合会会長理事) 印

〇〇農業共済組合組合長理事  
(〇〇市町村長又は全国農業共済組合連合会会長理事) 印

地区コード

組合員等コード

引受年度

区分

（飼養場所）

農業保険法令、定款及び事業規程(条例)に従い引受けた家畜共済に係る共済関係について、以下のとおり通知いたします。

|         |      |                      |        |        |            |      |
|---------|------|----------------------|--------|--------|------------|------|
| 共済関係成立日 | 短期月数 | 共済掛金期間開始<br>平成 年 月 日 | 危険段階区分 | 事故除外区分 | 死亡限度適用除外区分 | 共済事故 |
|         |      |                      |        |        |            |      |

|          |        |         |
|----------|--------|---------|
| 母豚常時飼養頭数 | 現在母豚頭数 | 現在有資格頭数 |
|          |        |         |

|                          |     |     |     |     |     |      |      |    |
|--------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|----|
| 畜舎種類別面積(m <sup>2</sup> ) | 母豚舎 | 分娩舎 | 離乳舎 | 育成舎 | 肥育舎 | その他1 | その他2 | 合計 |
|                          |     |     |     |     |     |      |      |    |

|            |    |    |    |     |
|------------|----|----|----|-----|
|            | 年度 | 年度 | 年度 | 平均値 |
| 一腹当たり平均産子数 |    |    |    |     |
| 年間平均分娩回数   |    |    |    |     |
| 子豚の死亡率(%)  |    |    |    |     |
| 出荷頭数       |    |    |    |     |
| 肥育回転率      |    |    |    |     |

|         |      |      |
|---------|------|------|
| 継続前引受情報 |      |      |
| 引受頭数    | 共済価額 | 共済金額 |
|         |      | 付保割合 |

|      |      |      |      |      |       |         |                   |       |                   |
|------|------|------|------|------|-------|---------|-------------------|-------|-------------------|
| 引受頭数 | 共済価額 | 共済金額 | 付保割合 | 共済掛金 | 国庫負担額 | 組合員等負担額 |                   |       | 死亡共済金<br>支払限度額(円) |
|      |      |      |      |      |       | 共済掛金    | (組合員等別)<br>事務費賦課金 | 防災賦課金 | 計                 |
|      |      |      |      |      |       |         |                   |       |                   |

|            |      |      |        |      |      |         |      |      |
|------------|------|------|--------|------|------|---------|------|------|
| 納入区分       | 払込期限 | 共済掛金 | 納入区分   | 払込期限 | 共済掛金 | 納入区分    | 払込期限 | 共済掛金 |
| 一括又は分納第1回分 |      |      | 分納第5回分 |      |      | 分納第9回分  |      |      |
| 分納第2回分     |      |      | 分納第6回分 |      |      | 分納第10回分 |      |      |
| 分納第3回分     |      |      | 分納第7回分 |      |      | 分納第11回分 |      |      |
| 分納第4回分     |      |      | 分納第8回分 |      |      | 分納第12回分 |      |      |
| 払込方法       | 口座振替 |      |        |      |      |         |      |      |

〔注意事項〕

- 1 「共済価額」は、共済目的の家畜に異動があった場合には、異動の時の属する基準期間の次の基準期間の開始の時の共済価額となります。
- 2 「共済金額」は、家畜の死亡又は廃用により共済金が支払われた場合は当該共済金支払があった時の属する基準期間の次の基準期間の開始の時、共済金額が増額された場合には増額後の共済金額となります。
- 3 「付保割合」については、上記1及び2により増減した後の共済価額及び共済金額により算出された割合となります。
- 4 通知すべき事項は別紙のとおりであり、当該事項が発生した場合には、速やかに組合等へ連絡して下さい。
- 5 上記4の通知を怠り又は故意若しくは重大な過失によって不実の通知をしたときは、共済金の全部又は一部について支払われないことがあります。

〔組合等が本加入証を交付する際の注意事項〕

- 1 「共済事故」欄に具体的内容を記載しない場合は、同欄に「別紙のとおり」と記載し、具体的内容を記載した別紙を作成するか、又は「裏面のとおり」と記載し、裏面に具体的内容を記載して組合員等に知らせること。
  - 2 「通知等すべき事項」として、農業共済組合模範事業規程例の基準（平成16年1月9日付け15経営第5367号農林水産事務次官依命通知）第16条第1項第3号、第3項から第6項まで、第50条第3項及び第58条の通知等をすべき事項を記載した別紙を作成するか、又は裏面に記載して組合員等に知らせること。裏面に記載する場合は、「別紙」を「裏面」とすること。
- なお、「共済事故」欄について、別紙を作成する場合は、これを「別紙1」とし、「別紙2」として通知すること。別紙1及び別紙2として通知すべき事項を併記すること。

加入証（群単位肉豚）

住所  
氏名  
電話

殿

平成 年 月 日

（飼養場所）

〇〇農業共済組合組合長理事  
（〇〇市町村長又は全国農業共済組合連合会会長理事） 印

|       |         |      |    |
|-------|---------|------|----|
| 地区コード | 組合員等コード | 引受年度 | 区分 |
|       |         |      |    |

農業保険法令、定款及び事業規程(条例)に従い引受けした家畜共済に係る共済関係について、以下のとおり通知いたします。

| 共済関係成立日 | 共済掛金期間 | 共済掛金期間開始 | 共済掛金期間満了 | 危険段階区分 | 死亡限度適用除外区分 | 共済事故 |
|---------|--------|----------|----------|--------|------------|------|
|         |        | 平成 年 月 日 | 平成 年 月 日 |        |            |      |

| 1頭当たり |     | 千円   | 円    | %    | 組 合 員 等 負 担 額 |       |                                 |       | 死亡共済金支払限度額 |   |
|-------|-----|------|------|------|---------------|-------|---------------------------------|-------|------------|---|
| 群番号   | 頭 数 | 共済価額 | 共済金額 | 付保割合 | 共済掛金          | 国庫負担額 | 共済掛金<br>事務費<br>賦課金<br>(うち組合員等割) | 防災賦課金 |            | 計 |
|       |     | 千円   | 円    | %    | 円             | 円     | 円                               | 円     | 円          | 円 |
|       |     |      |      |      |               |       | ( )                             |       |            |   |

〔注意事項〕

- 1 通知等すべき事項は別紙のとおりであり、当該事項が発生した場合には、速やかに組合等へ連絡して下さい。
- 2 上記1の通知等を怠り又は故意若しくは重大な過失によって不実の通知等をしたときは、共済金の全部又は一部について支払われないことがあります。

〔組合等が本加入証を交付する際の注意事項〕

- 1 「共済事故」欄に具体的内容を記載しない場合は、同欄に「別紙のとおり」と記載し、具体的内容を記載した別紙を作成するか、又は「裏面のとおり」と記載し、裏面に具体的内容を記載して組合員等に知らせること。
- 2 「通知等すべき事項」として、農業共済組合模範事業規程例の基準（平成16年1月9日付け15経営第5367号農林水産事務次官依命通知）第16条第1項第4号、第3項から第6項まで、第50条第3項及び第58条の通知等をすべき事項を記載した別紙を作成するか、又は裏面に記載して組合員等に知らせること。裏面に記載する場合は、「〔注意事項〕」の「別紙」を「裏面」とすること。
- なお、「共済事故」欄について、別紙を作成する場合は、これを「別紙1」とし、「別紙2」として通知すべき事項を記載するか又は「別紙」として共済事故の具体的内容及び通知すべき事項を併記すること。

死亡廃用共済 加入証（個別共済）

住所  
氏名  
電話  
(飼養場所)

殿  
  
  
)

平成 年 月 日  
  
〇〇農業共済組合組合長理事  
(〇〇市町村長又は全国農業共済組合連合会会長理事) 印

|       |             |          |    |
|-------|-------------|----------|----|
| 地区コード | 組合員等<br>コード | 引受<br>年度 | 区分 |
|       |             |          |    |

農業保険法令、定款及び事業規程（条例）に従い引受けした家畜共済に係る共済関係について、以下のとおり通知いたします。

|         |      |          |          |      |      |
|---------|------|----------|----------|------|------|
| 共済関係成立日 | 短期月数 | 共済掛金期間開始 | 共済掛金期間満了 | 危険段階 | 共済事故 |
|         |      | 平成 年 月 日 | 平成 年 月 日 |      |      |
|         | か月   |          |          |      |      |

| 共済目的<br>の 種 類 | 共済価額<br><br>千円 | 共済金額<br><br>円 | 付保<br>割合<br><br>% | 共済掛金<br><br>円 | 国 庫<br>負 担 額<br><br>円 | 組 合 員 等 負 担 額    |                                  |                |
|---------------|----------------|---------------|-------------------|---------------|-----------------------|------------------|----------------------------------|----------------|
|               |                |               |                   |               |                       | 共 済 掛 金<br><br>円 | 事務費賦課金<br>(うち組合員等<br>割)<br><br>円 | 防災賦課金<br><br>円 |
|               |                |               |                   |               |                       |                  |                                  |                |
|               |                |               |                   |               |                       |                  |                                  |                |
| 番 号           | 名              | 号             | 耳 標               | 生年月日          | 毛 色 ・ 特 徴             | 品 種              | 登録証番号                            | 登録点数           |
|               |                |               |                   |               |                       |                  |                                  |                |
|               |                |               |                   |               |                       |                  |                                  | 払込方法<br>口座振替   |

〔注意事項〕

- 1 通知すべき事項は別紙のとおりであり、当該事項が発生した場合には、速やかに組合等へ連絡して下さい。
- 2 上記1の通知を怠り又は故意若しくは重大な過失によって不実の通知をしたときは、共済金の全部又は一部について支払われないことがあります。

〔組合等が本加入証を交付する際の注意事項〕

- 1 「共済事故」欄に具体的内容を記載しない場合は、同欄に「別紙のとおり」と記載し、具体的内容を記載した別紙を作成するか、又は「裏面のとおり」と記載し、裏面に具体的内容を記載して組合員等に知らせる。
  - 2 「通知等すべき事項」として、農業共済組合模範事業規程例の基準（平成16年1月9日付け15経営第5367号農林水産事務次官依命通知）第16条第3項から第7項まで、第50条第3項及び第58条の通知等をすべき事項を記載した別紙を作成するか、又は裏面に記載して組合員等に知らせること。裏面に記載する場合は、〔注意事項〕の「別紙」を「裏面」とすること。
- なお、「共済事故」欄について、別紙を作成する場合は、これを「別紙1」とし、「別紙2」として通知すべき事項を記載するか又は「別紙」として共済事故の具体的内容及び通知すべき事項を併記すること。

疾病傷害共済 加入証（個別共済）

住所  
氏名  
電話  
(飼養場所)

殿

平成 年 月 日

〇〇農業共済組合組合長理事  
(〇〇市町村長又は全国農業共済組合連合会会長理事) 印

| 地区コード | 組合員等<br>コード | 引受<br>年度 | 区分 |
|-------|-------------|----------|----|
|       |             |          |    |

農業保険法令、定款及び事業規程（条例）に従い引受けした家畜共済に係る共済関係について、以下のとおり通知いたします。

| 共済関係成立日 | 短期月数 | 共済掛金期間開始 | 共済掛金期間満了 | 危険段階 | 共済事故 |
|---------|------|----------|----------|------|------|
|         |      | 平成 年 月 日 | 平成 年 月 日 |      |      |
|         | か月   |          |          |      |      |

| 共済目的<br>の 種 類 | 疾病傷害共済金<br>支払限度額 | 選択割合 | 共済金額 | 共済掛金 | 国 庫<br>負 担 額 | 組 合 員 等 負 担 額 |                         |            |
|---------------|------------------|------|------|------|--------------|---------------|-------------------------|------------|
|               |                  |      |      |      |              | 共済掛金          | 事務費賦課金<br>(うち組合員等<br>割) | 防災賦課金<br>計 |
|               | 千円               | %    | 円    | 円    | 円            | 円             | 円                       | 円          |
| 番 号           | 名                | 号    | 耳 標  | 生年月日 | 毛 色 ・ 特 徴    | 品 種           | 登録証番号                   | 登録点数       |
|               |                  |      |      |      |              |               |                         | 払込方法       |
|               |                  |      |      |      |              |               |                         | 口座振替       |

〔注意事項〕

- 1 通知すべき事項は別紙のとおりであり、当該事項が発生した場合には、速やかに組合等へ連絡して下さい。
- 2 上記1の通知を怠り又は故意若しくは重大な過失によって不実の通知をしたときは、共済金の全部又は一部について支払われないことがあります。

〔組合等が本加入証を交付する際の注意事項〕

- 1 「共済事故」欄に具体的内容を記載しない場合は、同欄に「別紙のとおり」と記載し、具体的内容を記載した別紙を作成するか、又は「裏面のとおり」と記載し、裏面に具体的内容を記載して組合員等に知らせること。
  - 2 「通知等すべき事項」として、農業共済組合模範事業規程例の基準（平成16年1月9日付け15経営第5367号農林水産事務次官依命通知）第16条第3項から第7項まで、第50条第3項及び第58条の通知等をすべき事項を記載した別紙を作成するか、又は裏面に記載して組合員等に知らせること。裏面に記載する場合は、「別紙」を「裏面」とすること。
- なお、「共済事故」欄について、別紙を作成する場合は、これを「別紙1」とし、「別紙2」として通知すべき事項を記載するか又は「別紙」として共済事故の具体的内容及び通知すべき事項を併記すること。

## 家畜共済引受通知書(死亡廃用共済)

第 平成 年 月 号 日

農業共済組合連合会会長理事 殿

農業共済組合組合長理事

(市町村長)

印

平成 年 月分家畜共済引受結果を下記のとおり通知します。

|                  |                          | 農家数<br>(群数)<br>戸<br>(群) | 引受頭数<br>頭 | 共済価額<br>千円 | 共済金額<br>円 | 保険料<br>円 | 国庫負担額<br>円 | 納入保険料<br>円 |
|------------------|--------------------------|-------------------------|-----------|------------|-----------|----------|------------|------------|
| 包<br>括<br>共<br>済 | 搾 乳 牛                    |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 育 成 乳 牛                  |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 繁 殖 用 雌 牛                |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 育 成・肥 育 牛                |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 繁 殖 用 雌 馬                |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 育 成・肥 育 馬                |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 種 豚                      |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 肉 豚<br>( 特 定 肉 豚 )       |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 肉 豚<br>( 群 単 位 肉 豚 ) ( ) |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 計                        |                         |           |            |           |          |            |            |
| 個<br>別<br>共<br>済 | 乳用種雄牛                    |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 肉用種雄牛                    |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 種 雄 馬                    |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 計                        |                         |           |            |           |          |            |            |
| 合計               |                          |                         |           |            |           |          |            |            |

連 合 会 賦 課 金

円

(注意)

本通知書の提出に当たっては、以下の項目について添付データとして送信又は送付するものとする。  
なお、項目中「換算」とあるのは、短期引受について一般引受とした場合の金額とする。

都道府県番号ごと、組合等番号ごと、引受年月ごと、共済掛金区分ごと、料率地域番号ごと、危険段階区分ごと、引受区分(一般、追加(特定肉豚のみ)、短期)ごと、短期月数ごと、保険割合ごと、事故除外区分ごと、分納判定ごと、変更区分<sup>※1</sup>ごと及び変更年月ごとの農家数、引受頭数、共済価額、共済金額、保険金額、再保険金額、経過総保険金額、通常責任保険金額、共済掛金計、国庫負担額、保険料、再保険料、政府再保険料、交付金、換算共済掛金、換算保険料、換算政府再保険料、引受年度及び処理年月日。

※ 変更区分は次のとおりとする。

|       |         |
|-------|---------|
| 10 当初 | 当初の引受内容 |
|-------|---------|

(注) 特定肉豚の共済金額が増額された場合は、「引受区分」を「追加」とし、「変更区分」を「当初」とする。

## 家畜共済引受通知書(疾病傷害共済)

農業共済組合連合会会長理事 殿

第 平成 年 月 日 号

農業共済組合組合長理事

(市町村長)

印

平成 年 月分家畜共済引受結果を下記のとおり通知します。

|      |        | 農家数<br>戸 | 引受頭数<br>頭 | 支払限度額<br>千円 | 共済金額<br>円 | 保険料<br>円 | 国庫負担額<br>円 | 納入保険料<br>円 |
|------|--------|----------|-----------|-------------|-----------|----------|------------|------------|
| 包括共済 | 乳 用 牛  |          |           |             |           |          |            |            |
|      | 肉 用 牛  |          |           |             |           |          |            |            |
|      | 一 般 馬  |          |           |             |           |          |            |            |
|      | 種 豚    |          |           |             |           |          |            |            |
|      | 計      |          |           |             |           |          |            |            |
| 個別共済 | 乳用種種雄牛 |          |           |             |           |          |            |            |
|      | 肉用種種雄牛 |          |           |             |           |          |            |            |
|      | 種 雄 馬  |          |           |             |           |          |            |            |
|      | 計      |          |           |             |           |          |            |            |
| 合計   |        |          |           |             |           |          |            |            |

|             |   |
|-------------|---|
| 連 合 会 賦 課 金 | 円 |
|-------------|---|

(注意)

本通知書の提出に当たっては、以下の項目について添付データとして送信又は送付するものとする。  
なお、項目中「換算」とあるのは、短期引受について一般引受とした場合の金額とする。

都道府県番号ごと、組合等番号ごと、引受年月ごと、共済掛金区分ごと、料率地域番号ごと、危険段階区分ごと、引受区分(一般、短期)ごと、短期月数ごと、保険割合ごと、保険関係ごと、分納判定ごと、変更区分<sup>※</sup>ごと及び変更年月ごとの農家数、引受頭数、引受価額、支払限度額、共済金額、保険金額、再保険金額、経過総保険金額、通常責任保険金額、共済掛金1号、共済掛金2号、共済掛金計、国庫負担額、保険料、再保険料、政府再保険料、交付金、換算共済掛金1号、換算共済掛金2号、換算共済掛金計、換算保険料、換算政府再保険料、引受年度及び処理年月日。

※ 変更区分は次のとおりとする。

|       |         |
|-------|---------|
| 10 当初 | 当初の引受内容 |
|-------|---------|

## 家畜共済変更引受通知書(死亡廃用共済)

第 平成 年 月 日 号

農業共済組合連合会会長理事 殿

農業共済組合組合長理事

(市町村長)

印

平成 年 月分家畜共済引受けに変更があったので、下記のとおり通知します。

|                  |               |     | 農家数<br>(群数)<br>戸<br>(群) | 引受頭数<br>頭 | 共済価額<br>千円 | 共済金額<br>円 | 保険料<br>円 | 国庫負担額<br>円 | 納入保険料<br>円 |
|------------------|---------------|-----|-------------------------|-----------|------------|-----------|----------|------------|------------|
| 包<br>括<br>共<br>済 | 搾乳牛           | 変更分 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  |               | 変更後 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 育成乳牛          | 変更分 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  |               | 変更後 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 繁殖用雌牛         | 変更分 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  |               | 変更後 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 育成・肥育牛        | 変更分 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  |               | 変更後 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 繁殖用雌馬         | 変更分 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  |               | 変更後 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 育成・肥育馬        | 変更分 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  |               | 変更後 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 種豚            | 変更分 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  |               | 変更後 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 肉豚<br>(特定肉豚)  | 変更分 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  |               | 変更後 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 肉豚<br>(群単位肉豚) | 変更分 | ( )                     |           |            |           |          |            |            |
|                  |               | 変更後 | ( )                     |           |            |           |          |            |            |
|                  | 計             | 変更分 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  |               | 変更後 |                         |           |            |           |          |            |            |
| 個<br>別<br>共<br>済 | 乳用種種雄牛        | 変更分 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  |               | 変更後 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 肉用種種雄牛        | 変更分 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  |               | 変更後 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 種雄馬           | 変更分 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  |               | 変更後 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  | 計             | 変更分 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  |               | 変更後 |                         |           |            |           |          |            |            |
| 合計               |               | 変更分 |                         |           |            |           |          |            |            |
|                  |               | 変更後 |                         |           |            |           |          |            |            |

|        |   |
|--------|---|
| 連合会賦課金 | 円 |
|--------|---|

(注意)

- 1 本通知書の提出に当たっては、以下の項目について添付データとして送信又は送付するものとする。  
なお、項目中「換算」とあるのは、短期引受について一般引受とした場合の金額とする。

都道府県番号ごと、組合等番号ごと、引受年月ごと、共済掛金区分ごと、料率地域番号ごと、危険段階区分ごと、引受区分(一般、追加(特定肉豚のみ)、短期)ごと、短期月数ごと、保険割合ごと、事故除外区分ごと、分納判定ごと、変更区分<sup>※</sup>ごと及び変更年月ごとの農家数、引受頭数、共済価額、共済金額、保険金額、再保険金額、経過総保険金額、通常責任保険金額、共済掛金計、国庫負担額、保険料、再保険料、政府再保険料、交付金、換算共済掛金、換算保険料、換算政府再保険料、引受年度及び処理年月日。

※ 変更区分は次のとおりとする。

|    |         |                                                |
|----|---------|------------------------------------------------|
| 10 | 当初      | 当初の引受内容                                        |
| 20 | 変更後     | 期中変更及び引受終了による変更後の引受内容                          |
| 21 | 期中変更分   | 期中に共済金額の変更があった場合の変更分(農家数は変更農家数、金額は変更後と変更前の差額。) |
| 22 | 引受終了分   | 期中に共済関係の解除等により共済関係が終了した場合の変更分(同上。)             |
| 23 | うち収入保険  | 引受終了分のうち収入保険移行分                                |
| 30 | 期末調整後確定 | 期末調整完了後(確定)の引受内容                               |
| 31 | 期末調整分   | 期末調整による変更分(農家数は変更農家数、金額は変更後と変更前の差額。)           |

(注) 期末調整が完了した引受年月に係る「変更区分」が「期末調整後確定」のデータについて、肉豚及び個別共済は当該引受年月の「引受区分」が「当初」のときの数値と同じ数値で作成する。

- 2 この通知書は、変更のあった共済掛金期間の当初引受けをした年月ごとに作成するものとする。
- 3 変更後欄は変更を行った後の値を記入し、変更分欄は変更前と変更後の値の差を記入するものとする。  
なお、変更がないものは変更分に「0」を記入し、変更後欄には前回の数値を記入する。

## 家畜共済変更引受通知書(疾病傷害共済)

第 平成 年 月 号 日

農業共済組合連合会会長理事 殿

農業共済組合組合長理事  
(市町村長)

印

平成 年 月分家畜共済引受けに変更があったので、下記のとおり通知します。

|                  |        |     | 農家数<br>戸 | 引受頭数<br>頭 | 支払限度額<br>千円 | 共済金額<br>円 | 保険料<br>円 | 国庫負担額<br>円 | 納入保険料<br>円 |
|------------------|--------|-----|----------|-----------|-------------|-----------|----------|------------|------------|
| 包<br>括<br>共<br>済 | 乳用牛    | 変更分 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  | 肉用牛    | 変更分 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  | 一般馬    | 変更分 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  | 種豚     | 変更分 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  | 計      | 変更分 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |            |
| 個<br>別<br>共<br>済 | 乳用種種雄牛 | 変更分 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  | 肉用種種雄牛 | 変更分 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  | 種雄馬    | 変更分 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  | 計      | 変更分 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |            |
| 合計               |        | 変更分 |          |           |             |           |          |            |            |
|                  |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |            |

連 合 会 賦 課 金

円

(注意)

- 1 本通知書の提出に当たっては、以下の項目について添付データとして送信又は送付するものとする。  
なお、項目中「換算」とあるのは、短期引受について一般引受とした場合の金額とする。

都道府県番号ごと、組合等番号ごと、引受年月ごと、共済掛金区分ごと、料率地域番号ごと、危険段階区分ごと、引受区分(一般、短期)ごと、短期月数ごと、保険割合ごと、保険関係ごと、分納判定ごと、変更区分<sup>※</sup>ごと及び変更年月ごとの農家数、引受頭数、引受価額、支払限度額、共済金額、保険金額、再保険金額、経過総保険金額、通常責任保険金額、共済掛金1号、共済掛金2号、共済掛金計、国庫負担額、保険料、再保険料、政府再保険料、交付金、換算共済掛金1号、換算共済掛金2号、換算共済掛金計、換算保険料、換算政府再保険料、引受年度及び処理年月日。

※ 変更区分は次のとおりとする。

|    |       |                                              |
|----|-------|----------------------------------------------|
| 10 | 当初    | 当初の引受内容                                      |
| 20 | 変更後   | 期中変更及び引受終了による変更後の引受内容                        |
| 21 | 期中変更分 | 期中に共済金額の変更があった場合の変更分(農家数は変更数、金額は変更後と変更前の差額。) |
| 22 | 引受終了分 | 期中に共済関係の解除等により共済関係が終了した場合の変更分(同上。)           |

- 2 この通知書は、変更のあった共済掛金期間の当初引受けをした年月ごとに作成するものとする。
- 3 変更後欄は変更を行った後の値を記入し、変更分欄は変更前と変更後の値の差を記入するものとする。  
なお、変更がないものは変更分に「0」を記入し、変更後欄には前回の数値を記入する。

## 家畜共済引受集計通知書(死亡廃用共済)

第 平成 年 月 号 日

農林水産大臣 殿

農業共済組合連合会会長理事

印

平成 年 月分家畜共済引受結果を下記のとおり通知します。

|                  |                              | 農家数<br>(群数)<br>戸<br>(群) | 引受頭数<br>頭 | 共済価額<br>千円 | 共済金額<br>円 | 再保険料<br>円 | 国庫負担額<br>円 | 交付金<br>円 |
|------------------|------------------------------|-------------------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|----------|
| 包<br>括<br>共<br>済 | 搾 乳 牛                        |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 育 成 乳 牛                      |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 繁 殖 用 雌 牛                    |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 育成・肥育牛                       |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 繁 殖 用 雌 馬                    |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 育成・肥育馬                       |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 種 豚                          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 肉 豚<br>( 特 定 肉 豚 )           |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 肉 豚<br>( 群 単 位 肉 豚 ) (     ) |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 計                            |                         |           |            |           |           |            |          |
| 個<br>別<br>共<br>済 | 乳用種種雄牛                       |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 肉用種種雄牛                       |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 種 雄 馬                        |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 計                            |                         |           |            |           |           |            |          |
| 合計               |                              |                         |           |            |           |           |            |          |

(注意)

本通知書の提出に当たっては、以下の項目について添付データとして送信又は送付するものとする。  
なお、項目中「換算」とあるのは、短期引受について一般引受とした場合の金額とする。

都道府県番号ごと、組合等番号ごと、引受年月ごと、共済掛金区分ごと、料率地域番号ごと、危険段階区分ごと、引受区分(一般、追加(特定肉豚のみ)、短期)ごと、短期月数ごと、保険割合ごと、事故除外区分ごと、分納判定ごと、変更区分<sup>※</sup>ごと及び変更年月ごとの農家数、引受頭数、共済価額、共済金額、保険金額、再保険金額、経過総保険金額、通常責任保険金額、共済掛金計、国庫負担額、保険料、再保険料、政府再保険料、交付金、換算共済掛金、換算保険料、換算政府再保険料、引受年度及び処理年月日。

※ 変更区分は次のとおりとする。

|       |         |
|-------|---------|
| 10 当初 | 当初の引受内容 |
|-------|---------|

(注) 特定肉豚の共済金額が増額された場合は、「引受区分」を「追加」とし、「変更区分」を「当初」とする。

## 家畜共済引受集計通知書(疾病傷害共済)

第 平成 年 月 号 日

農林水産大臣 殿

農業共済組合連合会会長理事

印

平成 年 月分家畜共済引受結果を下記のとおり通知します。

|                  |        | 農家数<br>戸 | 引受頭数<br>頭 | 支払限度額<br>千円 | 共済金額<br>円 | 再保険料<br>円 | 国庫負担額<br>円 | 交付金<br>円 |
|------------------|--------|----------|-----------|-------------|-----------|-----------|------------|----------|
| 包<br>括<br>共<br>済 | 乳 用 牛  |          |           |             |           |           |            |          |
|                  | 肉 用 牛  |          |           |             |           |           |            |          |
|                  | 一 般 馬  |          |           |             |           |           |            |          |
|                  | 種 豚    |          |           |             |           |           |            |          |
|                  | 計      |          |           |             |           |           |            |          |
| 個<br>別<br>共<br>済 | 乳用種種雄牛 |          |           |             |           |           |            |          |
|                  | 肉用種種雄牛 |          |           |             |           |           |            |          |
|                  | 種 雄 馬  |          |           |             |           |           |            |          |
|                  | 計      |          |           |             |           |           |            |          |
| 合計               |        |          |           |             |           |           |            |          |

(注意)

本通知書の提出に当たっては、以下の項目について添付データとして送信又は送付するものとする。  
なお、項目中「換算」とあるのは、短期引受について一般引受とした場合の金額とする。

都道府県番号ごと、組合等番号ごと、引受年月ごと、共済掛金区分ごと、料率地域番号ごと、危険段階区分ごと、引受区分(一般、短期)ごと、短期月数ごと、保険割合ごと、保険関係ごと、分納判定ごと、変更区分<sup>※</sup>ごと及び変更年月ごとの農家数、引受頭数、引受価額、支払限度額、共済金額、保険金額、再保険金額、経過総保険金額、通常責任保険金額、共済掛金1号、共済掛金2号、共済掛金計、国庫負担額、保険料、再保険料、政府再保険料、交付金、換算共済掛金1号、換算共済掛金2号、換算共済掛金計、換算保険料、換算政府再保険料、引受年度及び処理年月日。

※ 変更区分は次のとおりとする。

|       |         |
|-------|---------|
| 10 当初 | 当初の引受内容 |
|-------|---------|

## 家畜共済変更引受集計通知書(死亡廃用共済)

第 平成 年 月 号 日

農林水産大臣 殿

農業共済組合連合会会長理事

印

平成 年 月分家畜共済引受けに変更があったので、下記のとおり通知します。

|                  |               |              | 農家数<br>(群数)<br>戸<br>(群) | 引受頭数<br>頭 | 共済価額<br>千円 | 共済金額<br>円 | 再保険料<br>円 | 国庫負担額<br>円 | 交付金<br>円 |
|------------------|---------------|--------------|-------------------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|----------|
| 包<br>括<br>共<br>済 | 搾乳牛           | 変更分          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  |               | 変更後          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 育成乳牛          | 変更分          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  |               | 変更後          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 繁殖用雌牛         | 変更分          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  |               | 変更後          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 育成・肥育牛        | 変更分          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  |               | 変更後          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 繁殖用雌馬         | 変更分          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  |               | 変更後          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 育成・肥育馬        | 変更分          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  |               | 変更後          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 種豚            | 変更分          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  |               | 変更後          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 肉豚<br>(特定肉豚)  | 変更分          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  |               | 変更後          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 肉豚<br>(群単位肉豚) | 変更分 (      ) |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  |               | 変更後 (      ) |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 計             | 変更分          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  |               | 変更後          |                         |           |            |           |           |            |          |
| 個<br>別<br>共<br>済 | 乳用種種雄牛        | 変更分          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  |               | 変更後          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 肉用種種雄牛        | 変更分          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  |               | 変更後          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 種雄馬           | 変更分          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  |               | 変更後          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  | 計             | 変更分          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  |               | 変更後          |                         |           |            |           |           |            |          |
| 合計               |               | 変更分          |                         |           |            |           |           |            |          |
|                  |               | 変更後          |                         |           |            |           |           |            |          |

(注意)

- 1 本通知書の提出に当たっては、以下の項目について添付データとして送信又は送付するものとする。  
なお、項目中「換算」とあるのは、短期引受について一般引受とした場合の金額とする。

都道府県番号ごと、組合等番号ごと、引受年月ごと、共済掛金区分ごと、料率地域番号ごと、危険段階区分ごと、引受区分(一般、追加(特定肉豚のみ)、短期)ごと、短期月数ごと、保険割合ごと、事故除外区分ごと、分納判定ごと、変更区分\*ごと及び変更年月ごとの農家数、引受頭数、共済価額、共済金額、保険金額、再保険金額、経過総保険金額、通常責任保険金額、共済掛金計、国庫負担額、保険料、再保険料、政府再保険料、交付金、換算共済掛金、換算保険料、換算政府再保険料、引受年度及び処理年月日。

※ 変更区分は次のとおりとする。

|    |         |                                                |
|----|---------|------------------------------------------------|
| 10 | 当初      | 当初の引受内容                                        |
| 20 | 変更後     | 期中変更及び引受終了による変更後の引受内容                          |
| 21 | 期中変更分   | 期中に共済金額の変更があった場合の変更分(農家数は変更農家数、金額は変更後と変更前の差額。) |
| 22 | 引受終了分   | 期中に共済関係の解除等により共済関係が終了した場合の変更分(同上。)             |
| 23 | うち収入保険  | 引受終了分のうち収入保険移行分                                |
| 30 | 期末調整後確定 | 期末調整完了後(確定)の引受内容                               |
| 31 | 期末調整分   | 期末調整による変更分(農家数は変更農家数、金額は変更後と変更前の差額。)           |

(注) 期末調整が完了した引受年月に係る「変更区分」が「期末調整後確定」のデータについて、肉豚及び個別共済は当該引受年月の「引受区分」が「当初」のときの数値と同じ数値で作成する。

- 2 この通知書は、変更のあった共済掛金期間の当初引受けをした年月ごとに作成するものとする。
- 3 変更後欄は変更を行った後の値を記入し、変更分欄は変更前と変更後の値の差を記入するものとする。  
なお、変更がないものは変更分に「0」を記入し、変更後欄には前回の数値を記入する。

家畜共済変更引受集計通知書(疾病傷害共済)

第 平成 年 月 号 日

農林水産大臣 殿

農業共済組合連合会会長理事

印

平成 年 月分家畜共済引受けに変更があったので、下記のとおり通知します。

|      |        |     | 農家数<br>戸 | 引受頭数<br>頭 | 支払限度額<br>千円 | 共済金額<br>円 | 再保険料<br>円 | 国庫負担額<br>円 | 交付金<br>円 |
|------|--------|-----|----------|-----------|-------------|-----------|-----------|------------|----------|
| 包括共済 | 乳用牛    | 変更分 |          |           |             |           |           |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |           |            |          |
|      | 肉用牛    | 変更分 |          |           |             |           |           |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |           |            |          |
|      | 一般馬    | 変更分 |          |           |             |           |           |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |           |            |          |
|      | 種豚     | 変更分 |          |           |             |           |           |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |           |            |          |
| 個別共済 | 計      | 変更分 |          |           |             |           |           |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |           |            |          |
|      | 乳用種種雄牛 | 変更分 |          |           |             |           |           |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |           |            |          |
|      | 肉用種種雄牛 | 変更分 |          |           |             |           |           |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |           |            |          |
|      | 種雄馬    | 変更分 |          |           |             |           |           |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |           |            |          |
| 合計   | 計      | 変更分 |          |           |             |           |           |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |           |            |          |

(注意)

- 1 本通知書の提出に当たっては、以下の項目について添付データとして送信又は送付するものとする。  
なお、項目中「換算」とあるのは、短期引受について一般引受とした場合の金額とする。

都道府県番号ごと、組合等番号ごと、引受年月ごと、共済掛金区分ごと、料率地域番号ごと、危険段階区分ごと、引受区分(一般、短期)ごと、短期月数ごと、保険割合ごと、保険関係ごと、分納判定ごと、変更区分<sup>※</sup>ごと及び変更年月ごとの農家数、引受頭数、引受価額、支払限度額、共済金額、保険金額、再保険金額、経過総保険金額、通常責任保険金額、共済掛金1号、共済掛金2号、共済掛金計、国庫負担額、保険料、再保険料、政府再保険料、交付金、換算共済掛金1号、換算共済掛金2号、換算共済掛金計、換算保険料、換算政府再保険料、引受年度及び処理年月日。

※ 変更区分は次のとおりとする。

|    |       |                                              |
|----|-------|----------------------------------------------|
| 10 | 当初    | 当初の引受内容                                      |
| 20 | 変更後   | 期中変更及び引受終了による変更後の引受内容                        |
| 21 | 期中変更分 | 期中に共済金額の変更があった場合の変更分(農家数は変更数、金額は変更後と変更前の差額。) |
| 22 | 引受終了分 | 期中に共済関係の解除等により共済関係が終了した場合の変更分(同上。)           |

- 2 この通知書は、変更のあった共済掛金期間の当初引受けをした年月ごとに作成するものとする。
- 3 変更後欄は変更を行った後の値を記入し、変更分欄は変更前と変更後の値の差を記入するものとする。  
なお、変更がないものは変更分に「0」を記入し、変更後欄には前回の数値を記入する。

## 家畜共済引受通知書(死亡廃用共済)

第 平成 年 月 号 日

農林水産大臣 殿

〇〇農業共済組合組合長理事  
(全国農業共済組合連合会会長理事)

印

平成 年 月分家畜共済引受結果を下記のとおり通知します。

|                  |               | 農家数<br>(群数)<br>戸<br>(群) | 引受頭数<br>頭 | 共済価額<br>千円 | 共済金額<br>円 | 保険料<br>円 | 国庫負担額<br>円 | 交付金<br>円 |
|------------------|---------------|-------------------------|-----------|------------|-----------|----------|------------|----------|
| 包<br>括<br>共<br>済 | 搾乳牛           |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 育成乳牛          |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 繁殖用雌牛         |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 育成・肥育牛        |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 繁殖用雌馬         |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 育成・肥育馬        |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 種豚            |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 肉豚<br>(特定肉豚)  |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 肉豚<br>(群単位肉豚) | ( )                     |           |            |           |          |            |          |
|                  | 計             |                         |           |            |           |          |            |          |
| 個<br>別<br>共<br>済 | 乳用種種雄牛        |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 肉用種種雄牛        |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 種雄馬           |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 計             |                         |           |            |           |          |            |          |
| 合計               |               |                         |           |            |           |          |            |          |

(注意)

本通知書の提出に当たっては、以下の項目について添付データとして送信又は送付するものとする。  
なお、項目中「換算」とあるのは、短期引受について一般引受とした場合の金額とする。

都道府県番号ごと、組合等番号ごと、引受年月ごと、共済掛金区分ごと、料率地域番号ごと、危険段階区分ごと、引受区分(一般、追加(特定肉豚のみ)、短期)ごと、短期月数ごと、事故除外区分ごと、分納判定ごと、変更区分<sup>※</sup>ごと及び変更年月ごとの農家数、引受頭数、共済価額、共済金額、保険金額、経過総共済金額、通常責任共済金額、共済掛金計、国庫負担額、保険料、政府保険料、交付金、換算共済掛金、換算政府保険料、引受年度及び処理年月日。

※ 変更区分は次のとおりとする。

|       |         |
|-------|---------|
| 10 当初 | 当初の引受内容 |
|-------|---------|

(注)特定肉豚の共済金額が増額された場合は、「引受区分」を「追加」とし、「変更区分」を「当初」とする。

## 家畜共済引受通知書(疾病傷害共済)

第 平成 年 月 号  
日

農林水産大臣 殿

〇〇農業共済組合組合長理事  
(全国農業共済組合連合会会長理事)

印

平成 年 月分家畜共済引受結果を下記のとおり通知します。

|                  |       | 農家数<br>戸 | 引受頭数<br>頭 | 支払限度額<br>千円 | 共済金額<br>円 | 保険料<br>円 | 国庫負担額<br>円 | 交付金<br>円 |
|------------------|-------|----------|-----------|-------------|-----------|----------|------------|----------|
| 包<br>括<br>共<br>済 | 乳 用 牛 |          |           |             |           |          |            |          |
|                  | 肉 用 牛 |          |           |             |           |          |            |          |
|                  | 一 般 馬 |          |           |             |           |          |            |          |
|                  | 種 豚   |          |           |             |           |          |            |          |
|                  | 計     |          |           |             |           |          |            |          |
| 個<br>別<br>共<br>済 | 乳用種雄牛 |          |           |             |           |          |            |          |
|                  | 肉用種雄牛 |          |           |             |           |          |            |          |
|                  | 種 雄 馬 |          |           |             |           |          |            |          |
|                  | 計     |          |           |             |           |          |            |          |
| 合計               |       |          |           |             |           |          |            |          |

(注意)

本通知書の提出に当たっては、以下の項目について添付データとして送信又は送付するものとする。  
なお、項目中「換算」とあるのは、短期引受について一般引受とした場合の金額とする。

都道府県番号ごと、組合等番号ごと、引受年月ごと、共済掛金区分ごと、料率地域番号ごと、危険段階区分ごと、引受区分(一般、短期)ごと、短期月数ごと、保険関係ごと、分納判定ごと、変更区分<sup>※</sup>ごと及び変更年月ごとの農家数、引受頭数、引受価額、支払限度額、共済金額、保険金額、経過総共済金額、通常責任共済金額、共済掛金1号、共済掛金2号、共済掛金計、国庫負担額、保険料、政府保険料、交付金、換算共済掛金1号、換算共済掛金2号、換算共済掛金計、換算政府保険料、引受年度及び処理年月日。

※ 変更区分は次のとおりとする。

|       |         |
|-------|---------|
| 10 当初 | 当初の引受内容 |
|-------|---------|

## 家畜共済変更引受通知書(死亡廃用共済)

第 平成 年 月 日 号

農林水産大臣 殿

〇〇農業共済組合組合長理事  
(全国農業共済組合連合会会長理事)

印

平成 年 月分家畜共済引受けに変更があったので、下記のとおり通知します。

|                  |                  |         | 農家数<br>(群数)<br>戸<br>(群) | 引受頭数<br>頭 | 共済価額<br>千円 | 共済金額<br>円 | 保険料<br>円 | 国庫負担額<br>円 | 交付金<br>円 |
|------------------|------------------|---------|-------------------------|-----------|------------|-----------|----------|------------|----------|
| 包<br>括<br>共<br>済 | 搾 乳 牛            | 変更分     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  |                  | 変更後     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 育 成 乳 牛          | 変更分     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  |                  | 変更後     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 繁 殖 用 雌 牛        | 変更分     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  |                  | 変更後     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 育 成・肥 育 牛        | 変更分     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  |                  | 変更後     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 繁 殖 用 雌 馬        | 変更分     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  |                  | 変更後     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 育 成・肥 育 馬        | 変更分     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  |                  | 変更後     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 種 豚              | 変更分     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  |                  | 変更後     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 肉 豚<br>(特 定 肉 豚) | 変更分     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  |                  | 変更後     |                         |           |            |           |          |            |          |
| 個<br>別<br>共<br>済 | 肉 豚<br>(群単位肉豚)   | 変更分 ( ) |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  |                  | 変更後 ( ) |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 計                | 変更分     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  |                  | 変更後     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 乳用種種雄牛           | 変更分     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  |                  | 変更後     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 肉用種種雄牛           | 変更分     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  |                  | 変更後     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 種 雄 馬            | 変更分     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  |                  | 変更後     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  | 計                | 変更分     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  |                  | 変更後     |                         |           |            |           |          |            |          |
| 合 計              |                  | 変更分     |                         |           |            |           |          |            |          |
|                  |                  | 変更後     |                         |           |            |           |          |            |          |

(注意)

- 1 本通知書の提出に当たっては、以下の項目について添付データとして送信又は送付するものとする。  
なお、項目中「換算」とあるのは、短期引受について一般引受とした場合の金額とする。

都道府県番号ごと、組合等番号ごと、引受年月ごと、共済掛金区分ごと、料率地域番号ごと、危険段階区分ごと、引受区分(一般、追加(特定肉豚のみ)、短期)ごと、短期月数ごと、事故除外区分ごと、分納判定ごと、変更区分<sup>※</sup>ごと及び変更年月ごとの農家数、引受頭数、共済価額、共済金額、保険金額、経過総共済金額、通常責任共済金額、共済掛金計、国庫負担額、保険料、政府保険料、交付金、換算共済掛金、換算政府保険料、引受年度及び処理年月日。

※ 変更区分は次のとおりとする。

|    |         |                                                |
|----|---------|------------------------------------------------|
| 10 | 当初      | 当初の引受内容                                        |
| 20 | 変更後     | 期中変更及び引受終了による変更後の引受内容                          |
| 21 | 期中変更分   | 期中に共済金額の変更があった場合の変更分(農家数は変更農家数、金額は変更後と変更前の差額。) |
| 22 | 引受終了分   | 期中に共済関係の解除等により共済関係が終了した場合の変更分(同上。)             |
| 23 | うち収入保険  | 引受終了分のうち収入保険移行分                                |
| 30 | 期末調整後確定 | 期末調整完了後(確定)の引受内容                               |
| 31 | 期末調整分   | 期末調整による変更分(農家数は変更農家数、金額は変更後と変更前の差額。)           |

(注) 期末調整が完了した引受年月に係る「変更区分」が「期末調整後確定」のデータについて、肉豚及び個別共済は当該引受年月の「引受区分」が「当初」のときの数値と同じ数値で作成する。

- 2 この通知書は、変更のあった共済掛金期間の当初引受けをした年月ごとに作成するものとする。
- 3 変更後欄は変更を行った後の値を記入し、変更分欄は変更前と変更後の値の差を記入するものとする。  
なお、変更がないものは変更分に「0」を記入し、変更後欄には前回の数値を記入する。

## 家畜共済変更引受通知書(疾病傷害共済)

第 平成 年 月 号  
日

農林水産大臣 殿

〇〇農業共済組合組合長理事  
(全国農業共済組合連合会会長理事)

印

平成 年 月分家畜共済引受けに変更があったので、下記のとおり通知します。

|      |        |     | 農家数<br>戸 | 引受頭数<br>頭 | 支払限度額<br>千円 | 共済金額<br>円 | 保険料<br>円 | 国庫負担額<br>円 | 交付金<br>円 |
|------|--------|-----|----------|-----------|-------------|-----------|----------|------------|----------|
| 包括共済 | 乳 用 牛  | 変更分 |          |           |             |           |          |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |          |
|      | 肉 用 牛  | 変更分 |          |           |             |           |          |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |          |
|      | 一 般 馬  | 変更分 |          |           |             |           |          |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |          |
|      | 種 豚    | 変更分 |          |           |             |           |          |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |          |
|      | 計      | 変更分 |          |           |             |           |          |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |          |
| 個別共済 | 乳用種種雄牛 | 変更分 |          |           |             |           |          |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |          |
|      | 肉用種種雄牛 | 変更分 |          |           |             |           |          |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |          |
|      | 種 雄 馬  | 変更分 |          |           |             |           |          |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |          |
|      | 計      | 変更分 |          |           |             |           |          |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |          |
| 合計   |        | 変更分 |          |           |             |           |          |            |          |
|      |        | 変更後 |          |           |             |           |          |            |          |

(注意)

- 1 本通知書の提出に当たっては、以下の項目について添付データとして送信又は送付するものとする。  
なお、項目中「換算」とあるのは、短期引受について一般引受とした場合の金額とする。

都道府県番号ごと、組合等番号ごと、引受年月ごと、共済掛金区分ごと、料率地域番号ごと、危険段階区分ごと、引受区分(一般、短期)ごと、短期月数ごと、保険関係ごと、分納判定ごと、変更区分<sup>※</sup>ごと及び変更年月ごとの農家数、引受頭数、引受価額、支払限度額、共済金額、保険金額、経過総共済金額、通常責任共済金額、共済掛金1号、共済掛金2号、共済掛金計、国庫負担額、保険料、政府保険料、交付金、換算共済掛金1号、換算共済掛金2号、換算共済掛金計、換算政府保険料、引受年度及び処理年月日。

※ 変更区分は次のとおりとする。

|    |       |                                              |
|----|-------|----------------------------------------------|
| 10 | 当初    | 当初の引受内容                                      |
| 20 | 変更後   | 期中変更及び引受終了による変更後の引受内容                        |
| 21 | 期中変更分 | 期中に共済金額の変更があった場合の変更分(農家数は変更数、金額は変更後と変更前の差額。) |
| 22 | 引受終了分 | 期中に共済関係の解除等により共済関係が終了した場合の変更分(同上。)           |

- 2 この通知書は、変更のあった共済掛金期間の当初引受けをした年月ごとに作成するものとする。
- 3 変更後欄は変更を行った後の値を記入し、変更分欄は変更前と変更後の値の差を記入するものとする。  
なお、変更がないものは変更分に「0」を記入し、変更後欄には前回の数値を記入する。

事故関係  
様式例 8

共 済 事 故 発 生 簿

| 通知年月日 | 地区名 | 組合員等<br>氏 名 | 家畜の種類 | 組合員等コード、<br>個体識別番号等 | 事故の種類 | 事故の状況 | 発病年月日 | 診療担当<br>獣医師名 | 通知方法 | 受付者 | 備考 |
|-------|-----|-------------|-------|---------------------|-------|-------|-------|--------------|------|-----|----|
|       |     |             | 牛・馬・豚 |                     | 死・廃・病 |       |       |              |      |     |    |
|       |     |             | 牛・馬・豚 |                     | 死・廃・病 |       |       |              |      |     |    |
|       |     |             | 牛・馬・豚 |                     | 死・廃・病 |       |       |              |      |     |    |
|       |     |             | 牛・馬・豚 |                     | 死・廃・病 |       |       |              |      |     |    |
|       |     |             | 牛・馬・豚 |                     | 死・廃・病 |       |       |              |      |     |    |
|       |     |             | 牛・馬・豚 |                     | 死・廃・病 |       |       |              |      |     |    |
|       |     |             | 牛・馬・豚 |                     | 死・廃・病 |       |       |              |      |     |    |
|       |     |             | 牛・馬・豚 |                     | 死・廃・病 |       |       |              |      |     |    |
|       |     |             | 牛・馬・豚 |                     | 死・廃・病 |       |       |              |      |     |    |
|       |     |             | 牛・馬・豚 |                     | 死・廃・病 |       |       |              |      |     |    |
|       |     |             | 牛・馬・豚 |                     | 死・廃・病 |       |       |              |      |     |    |
|       |     |             | 牛・馬・豚 |                     | 死・廃・病 |       |       |              |      |     |    |

(注意)

- 1 「組合員等コード、個体識別番号等」欄については、個体識別番号が不明なときは名号等を聞いて記入しておき、後で番号を照合して記入する。
- 2 「事故の状況」欄には、患畜の状況、例えば「今朝から下痢」等と記入する。
- 3 「通知方法」欄には、例えば「電話」「口頭」「はがき」等と記入する。
- 4 「受付者」欄には、通知を受けた者の氏名を記入する。
- 5 「備考」欄には、転帰の日等を記入する。
- 6 特定組合においては、「(市町村)」、組合員「等」の不用文字を抹消する。

様式例 9

|                                                 |                      |              |                 |              |                                      |              |              |       |
|-------------------------------------------------|----------------------|--------------|-----------------|--------------|--------------------------------------|--------------|--------------|-------|
| 死廃事故診断書(検案書)                                    |                      |              |                 |              |                                      | 番 号          |              |       |
|                                                 |                      |              |                 |              |                                      | 受付年月日        |              |       |
| 組合員等住所氏名                                        |                      |              |                 |              |                                      |              |              |       |
| 共 済 関 係                                         | 包 括 ・ 個 別            |              | 包 括 共 済 家 畜 区 分 |              |                                      |              | 事故除外区分       |       |
| 組合等コード                                          |                      |              | 組合員等コード         |              |                                      |              | 個体識別番号等      |       |
| 生 年 月 日                                         |                      | 品 種          |                 | 性            |                                      | 用 途          | 繁殖 ・ 肥育 ・ 搾乳 |       |
| 毛 色 特 徴                                         |                      |              |                 |              | 発病の原因、<br>その発生時点<br>(待期間中の<br>事故の場合) |              |              |       |
| 病 傷 名                                           | (1).....<br>(2)..... |              |                 | 診療回数         | .....回<br>.....回                     |              | 転 帰          | 死 法 廃 |
| 発 病<br>年 月 日                                    | .....                | 初 診<br>年 月 日 | .....           | 終 診<br>年 月 日 | .....                                | 転 帰<br>年 月 日 | .....        |       |
| 稟 告                                             |                      |              |                 |              |                                      |              |              |       |
| 現症及び経過(検案内容)                                    |                      |              |                 |              |                                      |              |              |       |
| 予 後                                             |                      |              |                 |              |                                      |              |              |       |
| 上記のとおり診断(検案)する。<br>平成 年 月 日<br>住所(所属) 獣医師氏名 (印) |                      |              |                 |              |                                      |              |              |       |

**(注意)**

- 1 「番号」欄には、組合等が診断書整理番号（他と重複のしない番号）を記入する。
- 2 「受付年月日」欄には、組合等が診断書を組合等で受け付けた年月日を記入する。
- 3 「組合等コード」、「組合員等コード」の各欄は加入証から転記し、「個体識別番号等」、「包括共済家畜区分」、「事故除外区分」、「生年月日」、「品種」、「毛色特徴」の各欄は、当該家畜及び組合員等への聞き取りに基づき記入する。なお、「個体識別番号等」については、個体識別番号のない家畜にあつては名号など個体の特定に資する情報を記載する。
- 4 「性」欄には、雄、雌、去勢の別を記入する。
- 5 「用途」欄には、繁殖、肥育又は搾乳のうち該当する文字に○を付す。
- 6 「発病の原因、その発生時点（待期間中の事故の場合）」欄には、獣医師が稟告と自分の診断結果とを総合して発病の原因と判断した事項を具体的かつ簡明に記入する。また、待期間の適否の判断のため、発病の原因の発生時点が明らかな場合は、当該発生時点を記入する。
- 7 「病傷名」欄には、単一の疾患によるものである場合は（１）に該当疾患の病名を記入する。複数の病態（合併症、継発症）によるものである場合には、担当獣医師が支配的と診断した疾患の病名を第一病名として（１）に記入し、合併症又は継発症を第二病名として（２）に記入する。

また、家畜共済事故病類別表で小分類まで設定されている疾病については、診断により小分類まで確定された場合には該当する小分類の項目を、確定できなかった場合は小分類の「その他」を（ ）を付して、病傷名に付記する。
- 8 「診療回数」欄及び「発病、初診、終診及び転帰年月日」欄には、7病傷名欄の（１）及び（２）ごとに、その回数及び年月日を記入する。転帰年月日は死亡又は廃用事故となった年月日を記入する。
- 9 「転帰」欄は、該当文字に○印をする。
- 10 「稟告」欄には、獣医師が求診された時に、患畜について、既往症、発病から初診に至るまでの状況及び経過、畜主のとした処置等について、聴取した事項を記入する。
- 11 「現症及び経過（検案内容）」欄には、診療日ごとの主な症状及び処置の概要、特に最終診療時の症状を詳細に記入する。検案については、その病名についての独特な病状及び状態を記入する。特に牛の胎児の場合は、死産に至った病因についても可能な限り記入する。
- 12 「予後」については、不良と診断した理由を具体的に記入する。
- 13 「年月日、住所（所属）、獣医師氏名」については、作成年月日及び獣医師の住所又は所属を明記し、記名捺印する。
- 14 特定組合等においては、組合員「等」、組合「等」の不要文字を抹消する。

（注）（１）診断、検案の別に不用文字を抹消する。  
（２）特定事故については組合等が（特）と記入する。  
（３）死廃事故診断書と病傷事故診断書を兼ねて作成する場合は、「病傷事故診断書」（様式例12）の（注）によるものとする。

様式例10-1

|                                                |       |              |             |  |    |                  |  |     |                |
|------------------------------------------------|-------|--------------|-------------|--|----|------------------|--|-----|----------------|
| 死 廃 事 故 認 定 書                                  |       |              |             |  |    | 番 号              |  |     |                |
|                                                |       |              |             |  |    | 受付年月日            |  |     |                |
| 組合員等住所氏名                                       |       |              |             |  |    |                  |  |     |                |
| 共済関係                                           | 包括・個別 | 包括共済<br>家畜区分 |             |  |    | 事故除外区分           |  |     | 支払限度<br>適用除外区分 |
| 組合等<br>コード                                     |       |              | 組合員等<br>コード |  |    | 個体識別番号等          |  |     |                |
| 生年月日                                           |       |              | 性           |  | 品種 |                  |  | 用 途 | 繁殖 ・ 肥育 ・ 搾乳   |
| 毛色特徴                                           |       |              |             |  |    | 責 任 開 始<br>年 月 日 |  |     | 認 定 日<br>年 月 日 |
|                                                |       |              |             |  |    | 発 病<br>年 月 日     |  |     | 待 期 間<br>区 分   |
| 病傷名                                            | (1)   |              |             |  |    | 転 帰<br>年 月 日     |  | 転 帰 | 死・法<br>廃( )号   |
|                                                | (2)   |              |             |  |    |                  |  |     |                |
| 共済事故に至るまでの状況及び共済事故と認定した根拠                      |       |              |             |  |    |                  |  |     |                |
|                                                |       |              |             |  |    |                  |  |     |                |
| 事 故 家 畜 の 価 額                                  |       |              |             |  |    | 組 合 等 へ の 通 知    |  | 有・無 |                |
| 残存物価額又は評価額                                     |       |              |             |  |    | 連 合 会 へ の 通 知    |  | 有・無 |                |
| 手 当 金 ・ 補 償 金 等                                |       |              |             |  |    | 管 理 損 防 義 務 違 反  |  | 有・無 |                |
| 売 渡 先 へ の 返 還 金                                |       |              |             |  |    | 事 故 家 畜 処 理 状 況  |  |     |                |
| 残存物価額又は評価額を認定した根拠                              |       |              |             |  |    |                  |  |     |                |
|                                                |       |              |             |  |    |                  |  |     |                |
| 現地確認を行った者<br>平成 年 月 日<br>農業共済組合 氏名             |       |              |             |  |    |                  |  |     |                |
| 上記のとおり共済事故と認定する。<br>平成 年 月 日<br>農業共済組合連合会獣医師氏名 |       |              |             |  |    |                  |  |     |                |

(印)

**(注意)**

- 1 死廃事故診断書と同様な事項欄については、死廃事故診断書に準ずる。
- 2 「包括共済家畜区分」欄については、生年月日、性別、品種及び用途から鑑み、該当する包括共済家畜区分を記入する。
- 3 「転帰」欄については、該当文字に○印を付し、廃用の場合は（ ）内に農業保険法施行規則第49条の該当号数を記入する。
- 4 「共済事故に至るまでの状況及び共済事故と認定した根拠」欄には、事故に至るまでの患畜の状況及び畜主又は獣医師のとした処置の概要を記入する。
  - (1) BSE又は牛白血病に係る廃用事故であって、と畜場でBSE又は牛白血病と診断されたものは、組合員等が食肉衛生検査所から交付された検査結果又は命令書その他と畜場法（昭和28年法律第114号）第16条第1号によりと殺若しくは解体禁止となったこと又は同条第3号により全廃棄となったことを明らかにする書類を受け取った日を記入する。
  - (2) 牛白血病による死廃事故については、共済事故に至るまでの状況及び共済事故と認定した根拠の他、第1章第15節第1款2（1）ア（ア）に掲げる牛白血病感染拡大防止措置の確認結果を記入する。
  - (3) 「責任開始年月日」欄には、当該事故家畜について家畜共済に係る共済責任の始まった日を記入する。ただし、共済掛金期間開始日の14日前以前に家畜共済に係る共済責任が始まっている場合は、共済責任の始まった日に代えて、共済掛金期間開始日の14日前の日を記入してもよい。
  - (4) 「待期間区分」欄には、待期間内に発生した共済事故であって免責となるものには「待」に○を付し、免責とならないものには「待除」に○を付す。なお、「待除」に○を付した場合は、その理由を「共済事故に至るまでの状況及び共済事故と認定した根拠」欄に簡潔に記入する。
- 5 「事故家畜の価額」欄には、包括共済家畜区分が育成乳牛、育成・肥育牛又は育成・肥育馬のいずれかである場合は死亡日又は廃用事故の要件を満たした日における評価額を記入し、それ以外の事故家畜である場合は当該事故家畜の加入時又は期首における評価額を記入する。
- 6 「残存物価額又は評価額」欄には、第1章第12節第1款5により肉皮等残存物価額、廃用家畜の売渡価格又は再評価売渡価額の金額を記入する。ただし、肉皮等残存物価額、廃用家畜の売渡価格又は再評価売渡価額に代えて基準額を用いた場合は、当該基準額を記入する。
- 7 「手当金・補償金等」欄には、家畜伝染病予防法の規定による手当金の額を記入する。その他補償金、賠償金等がある場合には、その額及び理由を記入する。
- 8 「売渡先への返還金」欄には、組合員等が家畜商等へ譲渡した牛が牛白血病又はBSEと診断されたことで、組合員等が売渡額の一部又は全部を家畜商等へ返還又は賠償した場合の当該金額を記入する。

- 9 「組合等への通知」及び「連合会への通知」欄は、事故発生通知の有無により、該当文字に○印を付する。
- 10 「管理損防義務違反」欄は、通常の飼養管理、損害防止義務に違反した事実の有無により、該当文字に○印を付する。
- 11 「事故家畜処理状況」欄には、売却（埋却）年月日、利用の程度（例えば廃棄処分された部分）等を記入する。
- 12 「残存物価額又は評価額を認定した根拠」欄については、第1章第12節第1款5により枝肉で販売した場合は控除した処理経費の額、生体で取引した場合は基準とした市場価額、事故家畜の体重あるいは病傷により低下した価額等、廃用家畜の残存物価額又は評価額を認定した根拠を記入する。
- ただし、事故家畜の枝肉価額、売渡価額又は再評価売渡価額に代えて基準額を用いた場合は、当該基準額の算定に用いた基準単価、枝肉重量又は事故家畜の体重及び処理経費を記入する。
- 13 獣医職員以外の職員が廃用事故の確認を現地において行った場合は、「農業共済組合連合会獣医師」を「農業共済組合連合会」に改める。
- 14 特定組合においては、組合員「等」、組合「等」、農業共済組合「連合会」獣医師名の不要文字を抹消する。
- 「組合等への通知」欄及び「連合会への通知」欄はそれぞれ「支所等への通知」及び「組合への通知」に改める。
- （注）特定事故については（特）と記載する。

様式例10-2

|                                                      |            |                    |  |                        |           |                        |              |  |
|------------------------------------------------------|------------|--------------------|--|------------------------|-----------|------------------------|--------------|--|
| 死 廃 事 故 認 定 書<br>(牛の胎児及び出生子牛用)                       |            |                    |  |                        | 番 号       |                        |              |  |
|                                                      |            |                    |  |                        | 受付年月日     |                        |              |  |
| 組合員等住所                                               |            |                    |  |                        |           |                        |              |  |
| 氏名                                                   |            |                    |  |                        |           |                        |              |  |
| 包 括 共 済<br>家 畜 区 分                                   |            | 事 故 除 外<br>区 分     |  | 支 払 限 度<br>適 用 除 外 区 分 |           |                        |              |  |
| 組 合 等<br>コ ー ド                                       |            | 組 合 員 等<br>コ ー ド   |  | 個 体 識 別 番 号 等          |           |                        |              |  |
| 生 年 月 日                                              |            | 性                  |  | 品 種                    |           | 用 途                    | 繁殖・肥育・搾乳     |  |
| 毛色特徴                                                 |            |                    |  | 責 任 開 始<br>年 月 日       |           | 母 牛 の 責 任<br>開 始 年 月 日 |              |  |
| 病傷名                                                  | (1)<br>(2) |                    |  |                        |           |                        |              |  |
| 現 地 確 認<br>年 月 日                                     |            |                    |  | 発 病<br>年 月 日           |           | 待 期 間 区 分              | 待・待除         |  |
| 確 認 場 所                                              |            |                    |  | 転 帰<br>年 月 日           |           | 転 帰                    | 死・法<br>廃( )号 |  |
| 確 認 方 法                                              |            | 確 認 内 容            |  |                        |           |                        |              |  |
| 1 授精(種付・移植)証明書<br>( 添 付 : 有・無 )                      |            | 最終授精(種付・<br>移植)年月日 |  | 授精(種付・移植)<br>証明書番号     |           | 授 精 者 氏 名              |              |  |
| 2 家畜人工授精簿(種付台帳)<br>( 写 し の 添 付 : 有・無 )               |            |                    |  |                        |           |                        |              |  |
| 3 妊 娠 鑑 定 書<br>( 写 し の 添 付 : 有・無 )                   |            | 妊娠鑑定年月日            |  |                        | 妊娠鑑定獣医師氏名 |                        |              |  |
| 胎 児 ( 又 は 出 生 子 牛 ) の<br>授 精 等 後 の 日 数               |            |                    |  | 認 定 年 月 日              |           |                        |              |  |
| 共済事故に至るまでの状況及び共済事故と認定した根拠(死産及び母牛の死廃事故に伴う死亡の場合は母牛の状況) |            |                    |  |                        |           |                        |              |  |
|                                                      |            |                    |  |                        |           |                        |              |  |
| 事 故 家 畜 の 価 額                                        |            |                    |  | 組 合 等 へ の 通 知          | 有・無       |                        |              |  |
| 残存物価額又は評価額                                           |            |                    |  | 連 合 会 へ の 通 知          | 有・無       |                        |              |  |
| 手 当 金 ・ 補 償 金 等                                      |            |                    |  | 管 理 損 防 義 務 違 反        | 有・無       |                        |              |  |
| 売渡先への返還金                                             |            |                    |  | 事 故 家 畜 処 理 状 況        |           |                        |              |  |
| 残存物価額又は評価額を認定した根拠                                    |            |                    |  |                        |           |                        |              |  |
|                                                      |            |                    |  |                        |           |                        |              |  |
| 現地確認を行った者<br>平成 年 月 日<br>農業共済組合 氏名                   |            |                    |  |                        |           |                        |              |  |
| 上記のとおり共済事故と認定する。<br>平成 年 月 日<br>農業共済組合連合会獣医師氏名       |            |                    |  |                        |           |                        |              |  |

(印)

**（注意）**

- 1 死産事故認定書（牛の胎児及び出生子牛以外の家畜用）と同様な事項欄については、当該認定書に準ずる。また、本様式の項目を網羅すれば、死産事故認定書（牛の胎児及び出生子牛以外の家畜用）と併せた様式にしても差し支えない。
- 2 「確認方法」欄は、該当する番号及び字句を○で囲む（該当の書類又は写しがある場合には添付する。）。
- 3 「確認内容」欄は、2の該当書類で項目を確認し転記する。
  - （1）「最終授精（種付・移植）年月日」欄については、家畜人工授精簿（種付台帳）より転記する場合は当該胎児又は子牛に係る授精等の年月日、つまり、最終授精等の年月日であることに留意すること。
  - （2）「授精者氏名」欄には、最終授精等を行った家畜人工授精師（獣医師、種畜の飼養者）の氏名を記入する。
- 4 「胎児（又は出生子牛）の授精等後の日数」欄には、最終授精等の日を第1日とした死亡事故日までの日数を記入する。
- 5 共済事故に至るまでの状況（死産及び母牛の死産事故に伴う死亡の場合は母牛の状況）」欄には、組合員等から聞き取り等により記入する。また、牛白血病による共済事故については、共済事故に至るまでの状況に、共済事故と確認した根拠の他、第1章第15節第1款2（1）ア（ア）に掲げる牛白血病感染拡大防止措置の確認結果を記入する。

# 様式例11

| 現 地 確 認 書（肉豚用）                  |                        |                               |  |       |
|---------------------------------|------------------------|-------------------------------|--|-------|
|                                 |                        | 番 号                           |  |       |
|                                 |                        | 受 付 年 月 日                     |  |       |
| 組 合 員 等 名                       |                        | (肉豚の健康状態)<br>(引受)<br><br>(事故) |  |       |
| 確 認 年 月 日                       | 年 月 日                  |                               |  |       |
| 確 認 者 氏 名                       |                        |                               |  |       |
| 共 済 関 係                         | 特定 群単位                 |                               |  |       |
| 事 故 除 外 区 分                     |                        |                               |  |       |
| 死 廃 限 度 適 用 除 外 区 分             |                        |                               |  |       |
| 用 務                             | 引 受 確 認<br>事 故 確 認     |                               |  |       |
| 確 認 頭 数                         | 引受 頭<br>事故 頭           | (事故豚の体重・体長等)                  |  |       |
| 事<br>故<br>の<br>確<br>認<br>事<br>項 | 発 病 年 月 日              |                               |  | 年 月 日 |
|                                 | 死 亡 年 月 日              |                               |  | 年 月 日 |
|                                 | 事 故 豚 の<br>処 理 状 況     |                               |  |       |
|                                 | 連 合 会 へ の<br>通 知 年 月 日 | 年 月 日                         |  |       |

## （注意）

- 1 特定肉豚の死亡事故について、第4章第3節第2款1（特定組合においては同節第3款）の規定により画像において確認した場合（以下、当該方法により行った死亡事故の確認を「画像確認」という。）は、「現地確認書（肉豚用）」を「画像確認書（肉豚用）」に改める。
- 2 「番号」欄には、確認した順に一連番号を記入する。
- 3 「受付年月日」欄には、都道府県連合会が組合等から提出のあった年月日を記入する。
- 4 「確認年月日」欄には、引受け又は事故の確認を行った年月日を記入する。
- 5 「確認者氏名」欄には、引受け又は事故の確認を行った組合等職員の氏名を記入する。
- 6 「共済関係」欄には、該当する共済関係に○印を付する。

- 7 「事故除外欄」には、該当する記号を記入する。
- 8 「用務」欄には、該当する用務内容に○印を付する。
- 9 「確認頭数」欄には、確認した引受頭数又は事故頭数を記入する。特定肉豚について、第4章第1節第7款4(1)イに示す異動が生じたときは現地においてその確認頭数を記入する。
- 10 「肉豚の健康状態等」の欄には、引受確認においては引受けをする飼養群の肉豚について、事故確認においては同一豚舎内の他の肉豚についての健康状態を確認して記入する。ただし、特定肉豚の死亡事故の確認を画像確認により行った場合は、記入を省略する。
- 11 「事故の確認事項」欄
  - (1)「発病年月日」、「死亡年月日」及び「事故豚の処理状況」は、確認に立ち会った組合員等（特定肉豚の死亡事故の確認を画像確認により行った場合は、損害発生通知を行った組合員等）からの聞き取り等により記入する。
  - (2)「連合会への通知年月日」は、都道府県連合会に事故発生通知をした年月日を記入する。
- 12 「事故豚の体重・体長等」欄には、事故豚が加入豚であるか否か判定資料となる体重、体長等を記入する。また、施行令第17条の規定により死亡の一部を共済事故としない選択をしている場合の死亡事故については、必ず病傷名を記入する。
- 13 特定組合においては、組合員「等」の不要文字を抹消し、「連合会への通知」欄は削除する。

様式例12

|                                                                     |            |         |                  |           |               |                       |        |  |  |
|---------------------------------------------------------------------|------------|---------|------------------|-----------|---------------|-----------------------|--------|--|--|
| 病 傷 事 故 診 断 書                                                       |            |         |                  |           | 組合等整理番号       |                       |        |  |  |
|                                                                     |            |         |                  |           | 受付年月日         |                       |        |  |  |
|                                                                     |            |         |                  |           | 共済責任<br>開始年月日 |                       |        |  |  |
|                                                                     |            |         |                  |           | 代理受領<br>通し番号  |                       |        |  |  |
| 組合員等住所氏名                                                            |            |         |                  |           |               |                       |        |  |  |
| 共済関係                                                                | 包括・個別      |         | 包括共済<br>家畜区分     |           |               |                       |        |  |  |
| 組合等<br>コード                                                          |            |         | 組合員等<br>コード      |           |               | 個体識別番号等               |        |  |  |
| 生年月日                                                                |            | 性       |                  | 品 種       |               | 用 途                   | 搾乳・その他 |  |  |
| 毛色特徴                                                                |            |         |                  |           |               |                       |        |  |  |
| 病 傷 名                                                               | 診 療<br>回 数 | 発病年月日   | 初診年月日            | 終 診 年 月 日 | 転 帰<br>年 月 日  | 転 帰                   |        |  |  |
| (1)                                                                 |            |         |                  |           |               | 治<br>死<br>法<br>廃<br>中 |        |  |  |
| (2)                                                                 |            |         |                  |           |               |                       |        |  |  |
| 稟告・発病の原因(待期間中の<br>事故の場合は、原因の発生時点を記載)                                |            |         | 最 終 分 娩<br>年 月 日 | 現 在 乳 量   | 妊 娠 月 数       |                       |        |  |  |
|                                                                     |            |         |                  | kg/日      | か月            |                       |        |  |  |
| 月 日                                                                 | 現 症 ・ 経 過  | 治 療 内 容 | 薬 価              | 点数(除薬価)   |               |                       |        |  |  |
|                                                                     |            |         |                  | B         |               | A                     |        |  |  |
|                                                                     |            | 往診 km   | 円                | 点         | 点             |                       |        |  |  |
|                                                                     |            | 往診 km   | 円                | 点         | 点             |                       |        |  |  |
|                                                                     |            | 往診 km   | 円                | 点         | 点             |                       |        |  |  |
| 上記のとおり診断する。<br><br>平成 年 月 日<br>住所(団体名)<br><br>嘱託<br>獣医師氏名 (印)<br>指定 |            |         |                  | 計         |               |                       |        |  |  |
|                                                                     |            |         |                  | 点数合計      |               |                       |        |  |  |
|                                                                     |            |         |                  | 診療費       | 円             |                       |        |  |  |
|                                                                     |            |         |                  | 初診料       | 円             |                       |        |  |  |
| 免責該当条項:<br>事業規程(条例)第 条 号 免責額 円                                      |            |         |                  | 給付額       | 円             |                       |        |  |  |
|                                                                     |            |         |                  |           | 取扱者印 年月日      |                       |        |  |  |

**(注意)**

- 1 死廃事故診断書と同様な事項欄については、死廃事故診断書に準ずる。
- 2 「責任開始年月日」欄には、当該事故家畜について家畜共済に係る共済責任の始まった日を記入する。ただし、共済掛金期間開始日の14日前以前に家畜共済に係る共済責任が始まっている場合は、共済責任の始まった日に代えて共済掛金期間開始日の14日前の日を記入してもよい。
- 3 「現症・経過」欄には、症状の概要を一診療ごとに簡明に記入する。
- 4 「治療内容」、「薬価」及び「点数」欄には、行った診療に応じて、それぞれ並列して記入する。
  - (1) 「治療内容」欄には、往診キロ数、行った診療の種別、診療点数表に薬価基準表に基づく増点規定のある種別について医薬品を使用した場合には、その品名と使用量を記入する。指導を行った場合は、指導書を添付する。  
組合員等が医薬品を提供した場合には、その旨を記入する。
  - (2) 「薬価」欄には、使用した医薬品の量に応じ薬価基準表によって計算された金額を記入する。
  - (3) 「点数（除薬価）」欄には、診療した種別ごとの診療点数を記入する。  
「イ」の保険関係においては、A点数を記入する必要はない。
  - (4) 「計」欄には、薬価、B点数及びA点数をそれぞれ合計して記入する。
  - (5) 「点数合計」欄には、薬価の合計額を10円で除した数（小数点以下は四捨五入し、その除した数が1に満たない場合は切り上げて1とする。）をそれぞれB点数、A点数に加えた点数を記入する。
- 5 「診療費」欄には、診療獣医師が組合員等から徴収する額より初診料を除いた額を記入する。なお、平成32年1月1日以降に開始する家畜共済の共済掛金期間に係る共済関係については、初診料を含む。
- 6 「初診料」欄には、診療獣医師が組合員等から徴収した初診料を記入する。なお、平成32年1月1日以降に開始する家畜共済の共済掛金期間に係る共済関係については、欄を削除すること。
- 7 「免責該当条項」欄には、免責に該当する場合は、事業規程等の該当条項及び免責額を組合等が記入する。
- 8 「給付額」欄には、組合等が家畜共済病傷事故記録の「支払共済金」欄から支払共済金の額を転記する。
- 9 「取扱者印、年月日」欄には、審査に当たった組合等及び都道府県連合会の職員が捺印し、審査年月日を記入する。
- 10 特定組合等においては、組合員「等」、組合「等」の不要文字を抹消する。

(注) 死廃事故診断書と兼ねて作成する場合には次の方法による。

  - (1) 標題の「病傷事故診断書」を「死廃・病傷事故診断（検案）書」に改める。
  - (2) 死廃、病傷、診断、検案の別に不用文字を抹消する。
  - (3) 現症・経過欄に「死廃事故診断書（検案書）（様式9）」の注意の10及び11の内容を併せて記入する。

様式例13

# 診療種別等通知書

氏名 様

診療家畜の個体識別番号等：

診療日 平成 年 月 日

| 種別等    |                          | 治療に用いた動物用医薬品等の品名 |
|--------|--------------------------|------------------|
| 第1 診察料 | <input type="checkbox"/> |                  |
| 第2 薬治料 | <input type="checkbox"/> |                  |
| 第3 文書料 | <input type="checkbox"/> |                  |
| 第4 検査料 | <input type="checkbox"/> |                  |
| 第5 注射料 | <input type="checkbox"/> |                  |
| 第6 処置料 | <input type="checkbox"/> |                  |
| 第7 指導料 | <input type="checkbox"/> |                  |
| 第8 手術料 | <input type="checkbox"/> |                  |
| 第9 入院料 | <input type="checkbox"/> |                  |

(該当する種別等についてチェックする：☒)

発行日 平成 年 月 日

住所(団体名)

獣医師名

- 1 種別等の欄は具体的な診療行為の記載をもってチェックに代えることができる。
- 2 第1章第23節の農業共済団体等家畜診療所運営規則(例)の事故外診療等通知書と兼ねることも差し支えないが、その場合は病傷事故外診療費等の内容及び料金の記入欄を設けること。

様式例14

家畜共済病傷事故共済金代理受領委任状

〇〇農業共済組合組合長理事  
(〇〇市町村長又は全国農業共済組合連  
合会会長理事)

殿

平成 年 月 日

住 所

氏 名



私は、家畜共済加入家畜の病傷事故に係る共済金の受領を本組合(市町村)  
指定獣医師〇〇〇〇に委任します。

なお、当該病傷事故に係る診療費総額及びその内訳は下記のとおりです。

記

1 診療費総額 金 円

2 内 訳

| 通し<br>番号 | 包括共済<br>家畜区分 | 個 体 識 別 番 号 等 | 病 傷 名 | 初 診<br>年 月 日 | 終 診<br>年 月 日 | 診療費(円) | う ち 1 割<br>自 己 負 担 |
|----------|--------------|---------------|-------|--------------|--------------|--------|--------------------|
| 1        |              |               |       |              |              |        |                    |
| 2        |              |               |       |              |              |        |                    |
| 3        |              |               |       |              |              |        |                    |
| 4        |              |               |       |              |              |        |                    |
| 5        |              |               |       |              |              |        |                    |

3 1に掲げる診療費総額の1割について、加入者の自己負担となり請求される旨の  
説明を受けましたか？  
(なお、自己負担について、組合等が領収書等をもって確認する場合がありますので、  
大切に保管してください。)

はい ・ いいえ

(注意)

1. 特定組合においては、「(市町村長)」、「(市町村)」の不要文字を抹消する。
2. 自己負担は、平成32年1月1日引受以後に開始する共済関係において生じる。
3. 共済金の代理受領を委任する前月の自己負担額に対する対応について記入すること。







平成 年 月 ～ 平成 年 月 請求分

平成 年 月 ～ 平成 年 月 請求分

[illegible]

| 畜種  | 合計 | 病傷事故件數 | 診療回数 | B 總點數 | 請求保險金額 | 免責金額 | 共済金額超過額 |
|-----|----|--------|------|-------|--------|------|---------|
| 組合等 | 合計 |        |      |       |        |      |         |

234







**(注意)**

本通知書の提出に当たっては、以下の項目について添付データとして送信又は送付するものとする。

都道府県番号、共済掛金区分、事故時区分（子牛等又は成牛）、事故年月、病名コード、組合等番号、事故除外、特定事故、死廃限度適用対象、保険割合、農家コード、認定書番号（群肉豚の時は群番号）、転帰事由、廃用号数、評価額、待期間、免責額、共済金、処理年月日

平成 年 月 家 畜 共 済 保 険 金 請 求 書 (病傷事故)

平成 年 月 日

農業共済組合連合会会長理事 殿

金 円 也

農業共済組合組合長理事  
(市町村長)

[印]

上記の家畜共済保険金を支払われたく関係書類等を添えて請求します。

<内訳>

| 共 済 関 係 |                 | 件 数 | 病 類 別 内 訳 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 請 求 保 険 金<br>円 | 事 故 の 月<br>年月～年月 |   |   |   |
|---------|-----------------|-----|-----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----------------|------------------|---|---|---|
|         |                 |     | 循         | 血 | 呼 | 消 | 尿 | 生 | 乳 | 妊 | 新 | 神 | 感 | 内 | 運 | 皮 |                |                  | 中 | ウ | 細 |
| 包 括 共 済 | 乳 ( 成 用 牛 ) 牛 ) |     |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                |                  |   |   |   |
|         | 乳 ( 子 用 牛 ) 牛 ) |     |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                |                  |   |   |   |
|         | 肉 ( 成 用 牛 ) 牛 ) |     |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                |                  |   |   |   |
|         | 肉 ( 子 用 牛 ) 牛 ) |     |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                |                  |   |   |   |
|         | 一 般 馬 種         |     |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                |                  |   |   |   |
| 計       |                 |     |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                |                  |   |   |   |
| 個 別 共 済 | 乳 用 種 種 雄 牛     |     |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                |                  |   |   |   |
|         | 肉 用 種 種 雄 牛     |     |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                |                  |   |   |   |
|         | 種 種 雄 馬         |     |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                |                  |   |   |   |
|         | 計               |     |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                |                  |   |   |   |
| 合 計     |                 |     |           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                |                  |   |   |   |

**(注意)**

本通知書の提出に当たっては、以下の項目について添付データとして送信又は送付するものとする。

都道府県番号、共済掛金区分、事故時区分（子牛又は成牛）、転帰年月、病名コード、組合等番号、保険割合、保険関係、農家コード、診断書番号、待期間、診療回数、B点数、A点数、薬価点数、免責額、共済金、処理年月日

平成 年度 月 家畜共済連合会損害発生通知書

農林水産大臣 殿

平成 年 月 日

農業共済組合連合会会長理事 印

以下のとおり、損害発生状況について関係書類を添えて通知します。

| 通知項目       | 家 |  | 畜   |     | 共 済 |     |         |
|------------|---|--|-----|-----|-----|-----|---------|
|            |   |  | 死 亡 | 廃 用 | 共 済 | 疾 病 | 傷 害 共 済 |
| 支払農家数      |   |  |     |     | 戸   |     | 戸       |
| 事故頭数又は事故件数 |   |  |     |     | 頭   |     | 件       |
| 共済金        |   |  | 円   |     | 円   |     | 円       |
| 保険金        |   |  | 円   |     | 円   |     | 円       |

**(注意)**

本通知書の提出に当たっては、以下の明細ごとに定める項目について添付データとして送信又は送付するものとする。

① 死廃損害発生通知明細（集計１）

都道府県番号、通知年月、組合等番号、事故除外、特定事故、死廃限度適用対象、保険割合、共済掛金区分、事故時区分（子牛等又は成牛）、転帰年月、転帰事由、廃用号数、頭数、共済金、保険金、処理年月日

② 死廃損害発生通知明細（集計２）

都道府県番号、通知年月、組合等番号、共済掛金区分、事故時区分（子牛等又は成牛）、事故除外、特定事故、死廃限度適用対象、転帰年月、転帰事由、病名コード、頭数、手当金、補償金、共済金、保険金、処理年月日

③ 病傷損害発生通知明細（集計）

都道府県番号、通知年月、組合等番号、保険割合、保険関係、共済掛金区分、事故時区分（子牛又は成牛）、転帰年月、病名コード、件数、B総点数、A総点数、免責額、共済金、保険金、処理年月日

平成 年度 月 家畜共済特定組合等損害発生通知書

農林水産大臣 殿  
平成 年 月 日

〇〇農業共済組合  
(全国農業共済組合連合会)

印

以下のとおり、損害発生状況について関係書類を添えて通知します。

| 通知項目       | 家 | 畜  |    |    | 共 済 |    |    |
|------------|---|----|----|----|-----|----|----|
|            |   | 死亡 | 廃用 | 共済 | 疾病  | 傷害 | 共済 |
| 支払農家数      |   |    |    | 戸  |     |    | 戸  |
| 事故頭数又は事故件数 |   |    |    | 頭  |     |    | 件  |
| 共済金        |   | 円  |    | 円  |     |    | 円  |

**(注意)**

本通知書の提出に当たっては、以下の明細ごとに定める項目について添付データとして送信又は送付するものとする。

① 死廃損害発生通知明細（集計１）

都道府県番号、通知年月、組合等番号、事故除外、特定事故、死廃限度適用対象、保険割合、共済掛金区分、事故時区分（子牛等又は成牛）、転帰年月、転帰事由、廃用号数、頭数、共済金、保険金、処理年月日

② 死廃損害発生通知明細（集計２）

都道府県番号、通知年月、組合等番号、共済掛金区分、事故時区分（子牛等又は成牛）、事故除外、特定事故、死廃限度適用対象、転帰年月、転帰事由、病名コード、頭数、手当金、補償金、共済金、保険金、処理年月日

③ 病傷損害発生通知明細（集計）

都道府県番号、通知年月、組合等番号、保険割合、保険関係、共済掛金区分、事故時区分（子牛又は成牛）、転帰年月、病名コード、件数、B総点数、A総点数、免責額、共済金、保険金、処理年月日

様式23

平成 年 月 請求 家畜共済死廃事故共済金支払通知書 平成 年 月 日

〒

様

( )

死廃事故の共済金を下記のとおり支払いましたので、お知らせいたします。  
なお、口座振替分については、平成 年 月 日に支払いました。

|       |       |    |
|-------|-------|----|
| 金融機関名 |       | 種別 |
|       |       |    |
| 口座番号  | 口座名義人 |    |
|       |       |    |

〇〇農業共済組合組合長理事  
(〇〇市町村長又は全国農業共済組  
合連合会会長理事)

印

記

| 年度  | 共済関係 | 個体識別番号等 | 母牛個体識別番号<br>個 体 番 号 | 病 傷 名 | 転帰<br>事由 | 事故年月日 | 共 済 金<br>円 | 備 考 |
|-----|------|---------|---------------------|-------|----------|-------|------------|-----|
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
|     |      |         |                     |       |          |       |            |     |
| 合 計 |      |         |                     |       |          |       |            |     |



家畜共済病傷事故共済金振込通知書(代理受領用)

平成 年 月 日

殿

〇〇農業共済組合組合長理事  
(〇〇市町村長又は全国農業共済組  
合連合会会長理事)



貴殿が代理受領を委任されている病傷事故共済金を下記のとおり貴殿の口座に振り込みましたので、お知らせいたします。

記

- 1 振込額 金 円
  - (1) 病傷事故件数 件
  - (2) 事故月 平成 年 月～ 年 月
- 2 振込年月日 年 月 日

平成 年度 死 殞 損 害 確 定 報 告 及 び 保 険 金 ( 請 求 書 ・ 返 還 申 請 書 )

平成 年 月 日

農業共済組合連合会会長理事 殿

金 円也

農業共済組合組合長理事  
(市町村長)

印

以下のとおり、死殞事故が確定したので関係書類を添えて報告します。  
併せて、上記の家畜共済保険金を支払われたく(返還いたしたく)関係書類等を添えて提出します。

<内訳>

| 共 済 関 係 | 頭 数                      | 死 亡 頭 | 法 令 殺 頭 | 転 帰 |     |     |     |     |     |     | 保 険 金<br>円 | 事 故 の 月<br>年 月 ～ 年 月 | 保 険 金<br>受 領 済 み 額<br>円 | 保 険 金<br>保 険 金<br>請 求 ・ 返 還 額<br>円 |
|---------|--------------------------|-------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------|----------------------|-------------------------|------------------------------------|
|         |                          |       |         | 用   |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |
|         |                          |       |         | 1 号 | 2 号 | 3 号 | 4 号 | 5 号 | 6 号 | 7 号 |            |                      |                         |                                    |
| 包 括 共 済 | 搾 乳 牛                    |       |         |     |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |
|         | 育 成 乳 牛<br>( 成 牛 )       |       |         |     |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |
|         | 育 成 乳 牛<br>( 子 牛 等 )     |       |         |     |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |
|         | 繁 殖 用 雌 牛                |       |         |     |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |
|         | 育 成 ・ 肥 育 牛<br>( 成 牛 )   |       |         |     |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |
|         | 育 成 ・ 肥 育 牛<br>( 子 牛 等 ) |       |         |     |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |
|         | 繁 殖 用 雌 馬                |       |         |     |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |
|         | 育 成 ・ 肥 育 馬              |       |         |     |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |
|         | 種 豚                      |       |         |     |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |
|         | 特 定 肉 豚                  |       |         |     |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |
| 個 別 共 済 | 群 単 位 肉 豚                |       |         |     |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |
|         | 計                        |       |         |     |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |
|         | 乳 用 種 雄 牛                |       |         |     |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |
|         | 肉 用 種 雄 牛                |       |         |     |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |
|         | 種 雄 馬                    |       |         |     |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |
| 合 計     |                          |       |         |     |     |     |     |     |     |     |            |                      |                         |                                    |

**(注意)**

本通知書の提出に当たっては、以下の項目について添付データとして送信又は送付するものとする。

都道府県番号、共済掛金区分、事故時区分、事故年月、病名コード、組合等番号、事故除外、特定事故、死傷限度適用対象、保険割合、農家コード、認定書番号（群肉豚の時は群番号）、転帰事由、廃用号数、評価額、待期間、免責額、共済金、処理年月日

平成 年度 連 合 会 損 害 確 定 報 告 及 び 再 保 険 金 請 求 書

農林水産大臣 殿

平成 年 月 日

金 円 也

農業共済組合連合会会長理事

印

以下のとおり、家畜共済の事故が確定したので関係書類を添えて報告します。  
併せて、上記の家畜共済再保険金を支払われたく関係書類等を添えて請求します。

| 通知項目        | 家   |     | 共 済 |             |
|-------------|-----|-----|-----|-------------|
|             | 死 亡 | 廃 用 | 共 済 | 疾 病 傷 害 共 済 |
| 支払農家数       |     |     | 戸   | 戸           |
| 事故頭数又は事故件数  |     |     | 頭   | 件           |
| 共済金         | 円   |     | 円   | 円           |
| 保険金         | 円   |     | 円   | 円           |
| 経過総保険金額     | 円   |     |     |             |
| 家畜通常責任保険金額  | 円   |     |     |             |
| 再保険金(確定額)   | 円   |     |     |             |
| 再保険金(受領済み額) | 円   |     |     |             |
| 再保険金(今回請求額) | 円   |     |     |             |

**(注意)**

本通知書の提出に当たっては、以下の明細ごとに定める項目について添付データとして送信又は送付するものとする。

① 損害確定報告・再保険金請求書明細（死廃集計１）

都道府県番号、確定・請求年度、組合等番号、事故除外、特定事故、死廃限度適用対象、保険割合、共済掛金区分、事故時区分、転帰年月、転帰事由、廃用号数、頭数、共済金、保険金、処理年月日

② 損害確定報告・再保険金請求書明細（死廃集計２）

都道府県番号、確定・請求年度、組合等番号、共済掛金区分、事故時区分、事故除外、特定事故、死廃限度適用対象、転帰年月、転帰事由、病名コード、頭数、手当金、補償金等、共済金、保険金、処理年月日

平成 年度 特定組合等損害確定報告及び保険金請求書

農林水産大臣 殿

金 円也

平成 年 月 日

印

〇〇農業共済組合組合長理事  
(全国農業共済組合連合会会長理事)

以下のとおり、家畜共済の事故が確定したので関係書類を添えて報告します。  
併せて、上記の家畜共済保険金を支払われたい関係書類等を添えて請求します。

| 通知項目       | 家 畜 |     | 共 済 |             |
|------------|-----|-----|-----|-------------|
|            | 死 亡 | 廃 用 | 共 済 | 疾 病 傷 害 共 済 |
| 支払農家数      |     |     | 戸   | 戸           |
| 事故頭数又は事故件数 |     |     | 頭   | 件           |
| 共済金        | 円   |     | 円   | 円           |
| 経過総共済金額    | 円   |     |     |             |
| 家畜通常責任共済金額 | 円   |     |     |             |
| 保険金(確定額)   | 円   |     |     |             |
| 保険金(受領済み額) | 円   |     |     |             |
| 保険金(今回請求額) | 円   |     |     |             |

**(注意)**

本通知書の提出に当たっては、以下の明細ごとに定める項目について添付データとして送信又は送付するものとする。

① 損害確定報告・再保険金請求書明細（死廃集計１）

都道府県番号、確定・請求年度、組合等番号、事故除外、特定事故、死廃限度適用対象、保険割合、共済掛金区分、事故時区分、転帰年月、転帰事由、廃用号数、頭数、共済金、保険金、処理年月日

② 損害確定報告・再保険金請求書明細（死廃集計２）

都道府県番号、確定・請求年度、組合等番号、共済掛金区分、事故時区分、事故除外、特定事故、死廃限度適用対象、転帰年月、転帰事由、病名コード、頭数、手当金、補償金等、共済金、保険金、処理年月日

平成 年度 家畜共済再保険金概算払請求書 (第 回)

農林水産大臣 殿

金 円 也

平成 年 月 日

農業共済組合連合会会長理事

印

上記の家畜共済再保険金を支払われたく関係書類等を添えて請求します。

| 通知項目           | 家 |   | 畜   |     | 共 済 |     |         |
|----------------|---|---|-----|-----|-----|-----|---------|
|                |   |   | 死 亡 | 廃 用 | 共 済 | 疾 病 | 傷 害 共 済 |
| 支払農家戸数         |   |   |     |     | 戸   |     | 戸       |
| 事故頭数又は事故件数     |   |   |     |     | 頭   |     | 件       |
| 共済金            |   | 円 |     |     | 円   |     | 円       |
| 保険金            |   | 円 |     |     | 円   |     | 円       |
| 経過総保険金額(見込)    |   | 円 |     |     |     |     |         |
| 家畜通常責任保険金額(見込) |   | 円 |     |     |     |     |         |
| 概算払請求額         |   | 円 |     |     |     |     |         |
| 共済金×0.95       |   | 円 |     |     |     |     |         |
| 再保険金見込額×2/3    |   | 円 |     |     |     |     |         |

平成 年度 家畜共済保険金概算払請求書 (第 回)

農林水産大臣 殿  
平成 年 月 日

金 円也

〇〇農業共済組合組合長理事  
(全国農業共済組合連合会会長理事)

印

上記の家畜共済保険金を支払われたく関係書類等を添えて請求します。

| 通知項目           | 家 | 畜  |    |    | 共 済 |    |    |
|----------------|---|----|----|----|-----|----|----|
|                |   | 死亡 | 廃用 | 共済 | 疾病  | 傷害 | 共済 |
| 支払農家戸数         |   |    | 戸  |    |     |    | 戸  |
| 事故頭数又は事故件数     |   |    | 頭  |    |     |    | 件  |
| 共済金            |   | 円  |    | 円  |     |    | 円  |
| 経過総共済金額(見込)    |   | 円  |    |    |     |    |    |
| 家畜通常責任共済金額(見込) |   | 円  |    |    |     |    |    |
| 概算払請求額         |   | 円  |    |    |     |    |    |
| 共済金×0.95       |   | 円  |    |    |     |    |    |
| 保険金見込額×2/3     |   | 円  |    |    |     |    |    |

## 平成 年度 死亡廃用共済期末調整結果通知書

住所 〒

氏名

〇〇農業共済組合組合長理事

電話番号

(〇〇市町村長又は全国農業共済組合連合会会長理事)

(飼養場所)

| 地区コード | 組員等コード | 引受年度 | 区分 |
|-------|--------|------|----|
|       |        |      |    |

## 1. 引受内容

| 共済関係 | 共済掛金期間<br>開始年月日 | 共済掛金期間<br>満了年月日 | 危険段階区分 | 事故除外区分 | 死廃限度<br>適用除外 | 子牛選択          |                |
|------|-----------------|-----------------|--------|--------|--------------|---------------|----------------|
|      |                 |                 |        |        |              |               |                |
|      | 引受頭数            | 共済価額            | 共済金額   | 付保割合   | 国庫負担<br>共済掛金 | 組員等負担<br>共済掛金 | 死廃共済金<br>支払限度額 |
|      | (頭)             | (千円)            | (円)    | (%)    | (円)          | (円)           | (円)            |
| 期首   |                 |                 |        |        |              |               |                |
| 変更   |                 |                 |        |        |              |               |                |
| 期末   |                 |                 |        |        |              |               |                |
| 差※   |                 |                 |        |        |              |               |                |

※「差」欄は、期末と期首（変更が行われている場合は最後の変更）との差を記載する。

## 2. 追加支払（返還）共済掛金

【共済掛金】

|                 |   |                 |   |               |
|-----------------|---|-----------------|---|---------------|
| 期末調整後の共済掛金      | — | 期首調整前の共済掛金      | = | 差額            |
| 【うち国庫負担共済掛金】    |   |                 |   |               |
| 期末調整後の国庫負担共済掛金  | — | 期首調整前の国庫負担共済掛金  | = | 差額            |
| 【うち組員等負担共済掛金】   |   |                 |   |               |
| 期末調整後の組員等負担共済掛金 | — | 期首調整前の組員等負担共済掛金 | = | ①組員等負担共済掛金の差額 |

## 3. 追加支払（返還）共済金

②追加（返還）共済金

※支払限度額の変更により追加支払（返還）の対象となる共済事故の一覧を別紙として添付する。

## 4. 差引追加支払（返還）額（①掛金・保険金を相殺する場合）

|               |   |            |   |             |
|---------------|---|------------|---|-------------|
| ①組員等負担共済掛金の差額 | — | ②追加（返還）共済金 | = | 実際にやりとりする金額 |
|---------------|---|------------|---|-------------|

(期末調整時に掛金・保険金を相殺しない場合は4. は表示しない)

(別紙) 追加支払（返還）対象死亡廃用事故一覧

| 共済目的 | 個体識別<br>番号等 | 母牛個体<br>識別番号 | 病傷名 | 転帰<br>年月日 | 変更前<br>共済金<br>(円) | 変更後<br>共済金<br>(円) |  |
|------|-------------|--------------|-----|-----------|-------------------|-------------------|--|
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |
|      |             |              |     |           |                   |                   |  |

様式例32

家畜共済免責同意書(理由書)

本組合(市町村)は、下記共済事故の免責についてはこれを適当と認めて同意する(適当と認める)。

平成 年 月 日

農業共済組合理事  
(市町村長)

氏 名 印

氏 名 印

氏 名 印

氏 名 印

氏 名 印

記

|                                  |  |                     |  |              |  |
|----------------------------------|--|---------------------|--|--------------|--|
| 組合等<br>コード                       |  | 組合員等コード・<br>個体識別番号等 |  | 共済関係         |  |
| 組合員等住所氏名                         |  |                     |  |              |  |
| 共済価額                             |  | 共済金額                |  | 事故家畜の<br>価 額 |  |
| 残存物価額<br>又は評価額                   |  | 免 責 額               |  | 支払共済金        |  |
| 病 傷 名                            |  | 発病年月日               |  | 転帰年月日        |  |
| 免責該当条項 事業規程(条例)第 条 号             |  |                     |  |              |  |
| 事故発生に至るまでの事情                     |  |                     |  |              |  |
| 事故発生に至るまでの組合員等のとった処理             |  |                     |  |              |  |
| 事業規程(条例)第 条 号の免責に該当するものと認めた具体的根拠 |  |                     |  |              |  |

(注) 都道府県連合会が独自に保険金について免責する場合の同意書もこの様式に準ずる。